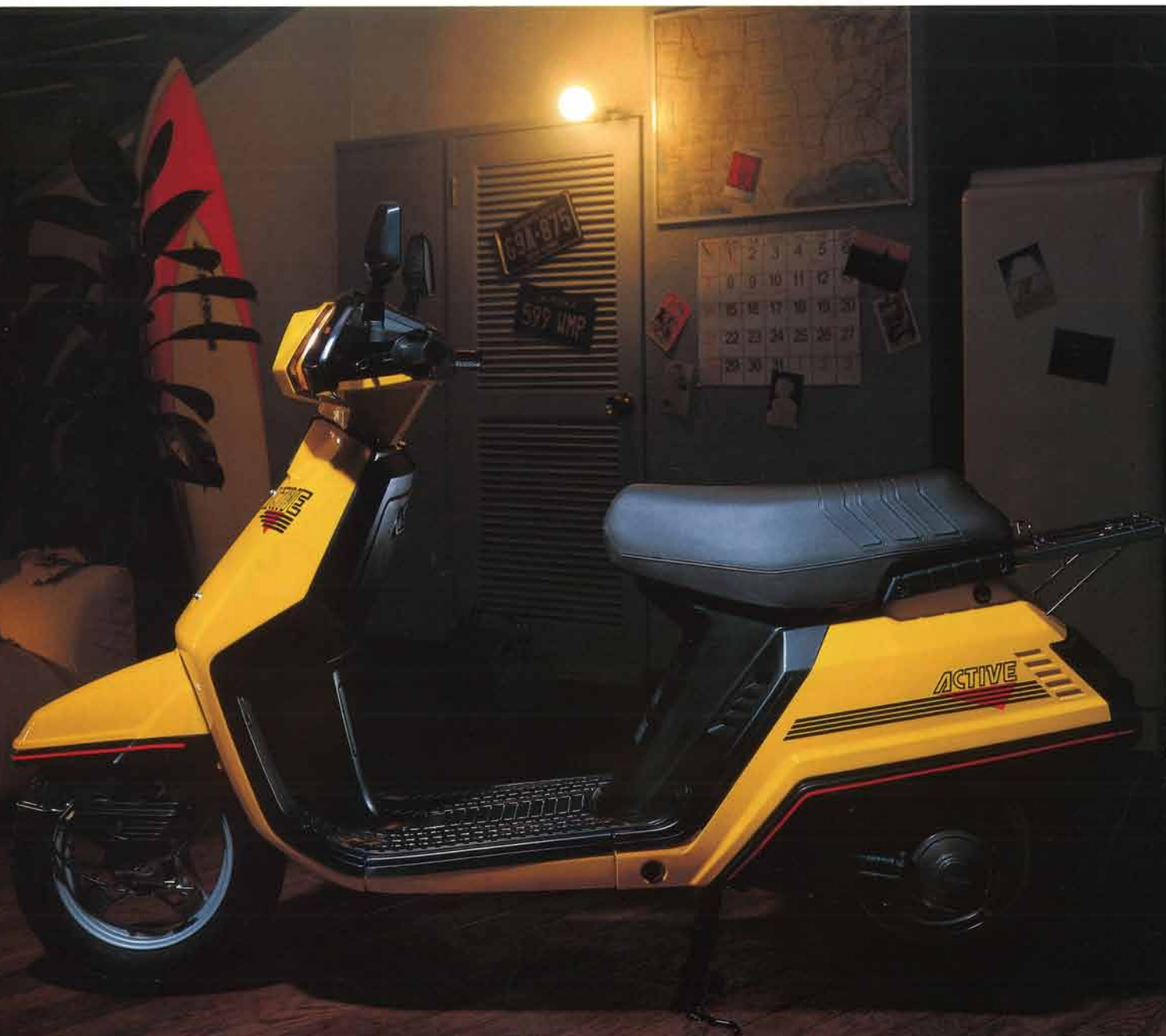


ACTIVE XT250T XJ400Z XJ400Z-S XJ750E-II RZ125 RZ350R SR400 SR500

**特集：いまたけなわの春商戦に、
強力新商品9機種一挙に新登場！**



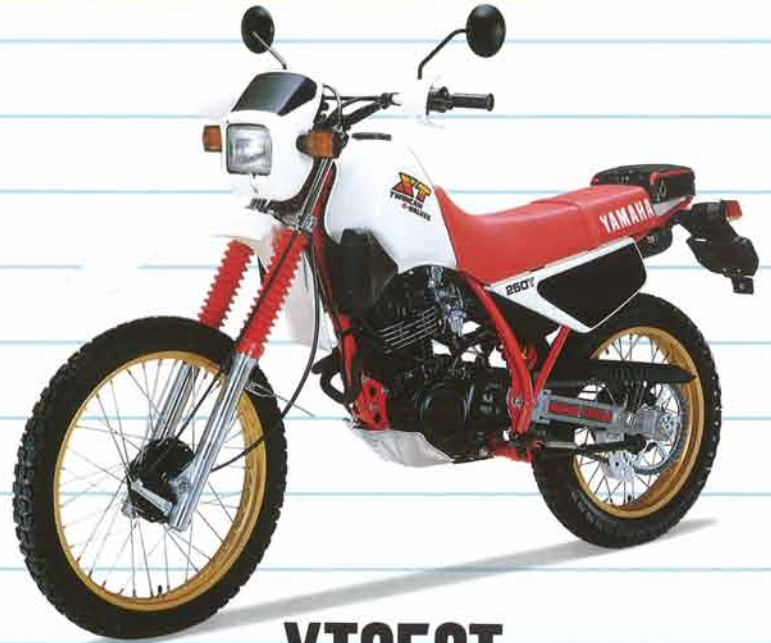
強力新商品9機種一挙に新登場!

J400Z

●水冷・4サイクル・4気筒・DOHC・16バルブエンジン●クラス最強の55PS/11500rpm

XJ400Z-S

●XJ400Zにカウリング、角型ヘッドランプ、カラーシート、ブラッククロームメッキマフラーを標準装備



XT250T

●ツインカム、4バルブ、YDISエンジン●250ccオフロードモデル最高の27PS/9000rpm ●ニューリンク式モノクロス・サスペンション

RZ125

●水冷・2サイクル・単気筒、YEISエンジン●クラス最高22PS/9500rpmのハイパワー●97kgの軽量ボディ●6速ミッション



SR400

●4サイクル・ビッグシングル●分割式セミエア・フロントフォーク●RZタイプ・メッキハンドル●60W/55Wハロゲン・ヘッドランプ●フレキシブル・フラッシュランプステア

SR500



特集：いまたけなわの春商戦に、

THE BEST

ACTIVE CH50EE CH50EM

- 5.5馬力・7ポートトルクインダクションエンジン+ニューパワフル・マチック
- メカニカル・アンチダイブフォーク+ガス封入式リヤクッション



XJ750E-II

- DOHC、4気筒、Y1CSエンジン
- 72PS/9000rpmのハイパワー
- ド・カルボン型プログラムサスペンション
- ベンチレイトッド・トリプルディスクブレーキ



RZ350R 5月15日より新発売!

- 2サイクル・水冷・2気筒+YPVS
- 400ccクラス最高の55PS/9000rpm
- ニューリンク式モノクロスサスペンション



行動感性360°

ACTIVE

アクティブ

CH50EM/CH50EE

- カラー
〔CH50EM〕 ホワイト/ヒートレッド/コンペティションイエロー
- 〔CH50EE〕 ニューパールホワイト/ラベンダシルバー



アクティブ・オプションパーツ

- ① ウィンドシールド② フロントスポーツキャリア③ リヤボックス④ リヤマッドガード⑤ サイドスタンド⑥ サイドガード⑦ アンダーキャリア⑧ ナックルガード⑨ オーバーレグシールド、その他フロントスポーツバスケット



機能美に徹したアクティブの象徴・インストルメントパネル。アナログメーター仕様(CH50EM)は、大型スピードメーター、フュエルメーターそしてオイル警告灯、速度警告灯、ハイビーム灯、始動ランプをセットしたメカニカルな3連メーター(写真下)。そしてデジタルメーター仕様(CH50EE)は、スピードメーター、フュエルメーターさらに50cc初の時計……とすべての機能をデジタル表示。

アクティブ CH50EM/EE仕様諸元

●全長1745mm●全幅665mm●全高1040mm●シート高720mm●軸間距離1170mm●最低地上高100mm●乾燥重量62kg、舗装平坦路燃費76km/ℓ(30km/h)●登坂能力20°●2サイクル・ピストンリードバルブ・単気筒・49cc●内径×行程40×39.2mm●圧縮比7.0●最高出力5.5PS/7000rpm●最大トルク0.58kg-m/5500rpm●始動方式セル・キック併用●オイルタンク容量1.1ℓ●燃料タンク容量5.6ℓ●点火方式CDI●バッテリー容量12V4AH●変速機Vベルト式

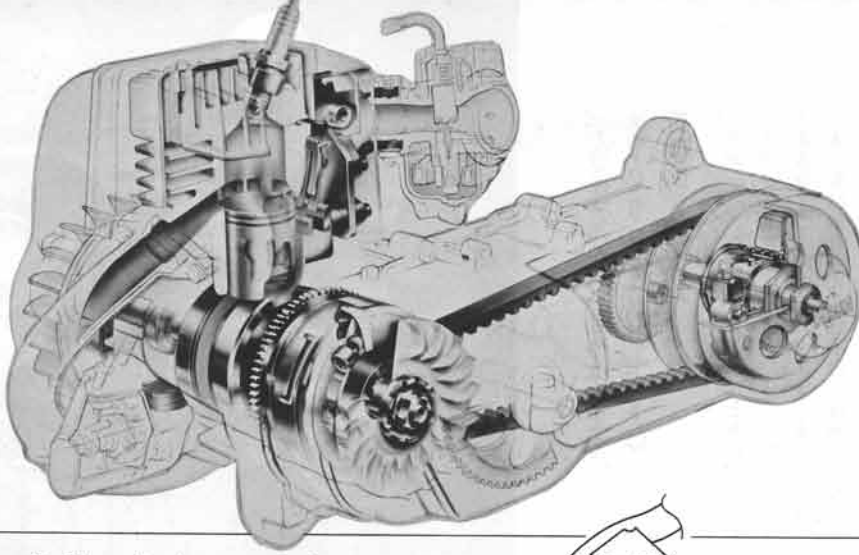
無段変速●鋼管アンダーボーンフレーム●キャスト27"●トレール67mm●タイヤ3.00-10-2PR(前後とも)●懸架方式(前)ボトムリンク(後)ユニットスイング●緩衝装置ガス・オイルダンパー・コイルスプリング●ヘッドランプ12V/30W/30W●マーカーランプ12V/5W●テールランプ12V/5W●ストップランプ12V/18W●フラッシュランプ12V/10W

5・5馬力ゆとりのハイパワー、躍動感あふれる流麗なフォルム、充実したかずかずの装備——スクーターの機能美を極めて新登場した『アクティブ』は、アクティブなヤングアダルトの感性に100%応える、本格スクーターのニュー・ヒーローです。

50ccスクーター最高の5・5馬力とトルクカム付ニューパワフルマチックのダイナミックな走り

『アクティブ』のセールスポイントの第1は、スクーターの概念を一新する、そのダイナミックな走りです。

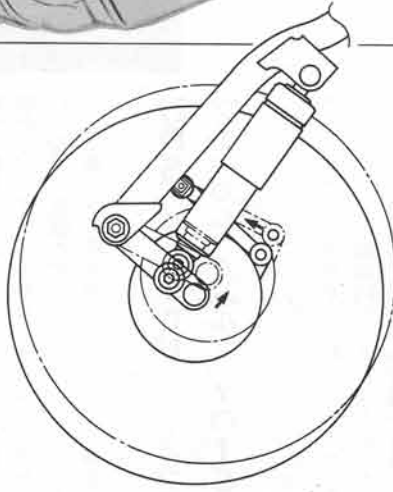
定評のヤマハ2サイクル技術・7ポート+トルクインダクションシステムをスクーター



として初めて採用してフラットな中低速トルクと50ccスクーターでは最高の5・5馬力のパワーを確保。これと、伝動効率にすぐれたトルクカム付ニューパワフルマチックと相まって、軽快なスタートダッシュ、快適な連続クルージング、パワフルな登坂……とあらゆる走行条件で最高の走りを発揮します。

強力なパワーユニットを支える、鍛えこんだ足まわり

すぐれた動力性能もそれを支える確かな足まわりがあつてこそ初めて発揮できるものであることはいまでもありません。そのため『ア



クティブ』では、足まわりにもハイメカニズムをふんだんに採用しています。

まずサスペンションは、フロントにコンパクトレッションバーによるメカニカル・アンチダイブ機構を装備して、制動時のノースタビリティを防止。一方、前後ともダンパーにはガスクッション（ガス封入式オイルダンパー）を採用してソフトな乗り心地を確保するとともに操縦性、走行安定性を高めています。

さらに前後輪には、スポーク部分をアルミ

製としたニュータイプホイールを採用。タイプも50ccスクーター初のチューブレスとしてパネ下重量の軽減をはかりながらロードホールディング能力を向上させています。

デジタルメーター仕様とアナログメーター仕様の2タイプ。機能美に徹したインストルメント・コンビネーション

機能美に徹した『アクティブ』の象徴ともいえるのが、幅広くグリップ部をカバーするグリップバイザーに囲まれたインストルメント・コンビネーションです。

これには、スポーツツーカーのインパネと思わせるブラックフェースのパネルに、大型メーター、燃料計と速度警告灯、オイル警告灯、ハイビーム灯、始動ランプを一体化した指示灯をセットしたアナログメーター仕様（CH50EM）と、これに50ccスクーター初の時計をプラス、さらにスピード計、燃量計をオールデジタル表示方式としたデジタルメーター仕様（CH50EE）の2タイプを用意。お客さまの好みや用途に応じて幅広く選択していただけるものとしています。

大気温センサー付オートチョーク、30W/30Wハロゲンヘッドランプ、クリアランスランプ兼用フラッシュャー……
使い勝手や安全設計も一段と充実

エンジンの始動にはメンテナンスフリーで点火性能にすぐれたCDI点火方式で大気温センサー付オートチョークを採用して、始動性を一段と高めています。

先に新発売の『ジョグ』から、ヤマハスクーターに新採用の大気温センサー付オートチョークは、これまでのエンジンの暖機状況にプラスして大気温度をきめ細かくチェック。季節に関わらずつねに最高の始動条件をセットするものです。

スクーターの行動半径を大幅に拡大する高

性能スクーター『アクティブ』。機会の増える夜間走行にあわせてヘッドランプには明るい30W/30Wのハロゲンランプ（上下切替え式）を採用。147cm²の大型レンズとあわせて夜の安全性を一段と高めています。また、フロントのフラッシュャーはクリアランスランプも兼用。薄暮時の被視認性を高めて安全走行に直結する新装備です。





究極のデュアル パーパスマシン XT250T

80年5月のデビュー以来、ズバ抜けたトータルバランスのよさで林道ツーリングのヒーロー役を果してきたXT250Tがダイナミックに変身して新登場。最強のパフォーマンスで、精悍なスタイリングで、充実した装備で、再びデュアルパーパス市場に一大旋風を呼び起こします！

路への住復。そして、このテストランの繰返しの
中から、トライアルからハイウエーまでを完璧
にこなす、究極のデュアルパーパスマシンの条
件——●クラス最高のエンジンパワー●乗り手

とマシンが一体化できる超軽量●道を選ばぬオ
フロード走破性●エンデューローサーキットゆず
りの精悍なスタイル●充実した装備——が設定
され、急ピッチの開発が進められてきたのです。

“トライアルからハイウエーまで”
XT250Tのコンセプトは

究極のデュアルパーパス

ヤマハ技術部の中でも、自他ともに認める若
いオフロードマニア5人が集まった時から「X
T250T」の開発がスタートしました。彼ら
が真っ先に取り組んだ仕事は、従来モデルのX
T250で、走りまわること。徹底的なテスト
ランを繰返す中から、究極のデュアルパーパス
マシン像を描き出そうというわけです。

静岡県磐田市から富士山麓へ。市街地を抜け、
東名高速を走り、一般道路を通過して林道へ、河原
へ、さらにはトライアル・セクションまがいの悪

27PS / 9000rpm —— クラス最強のハイパワーを生み出した
ツインカム、4バルブ、YDIS

こうして完成した「XT250T」最大の特
徴は、27馬力 / 9000回転というクラス最高
のパワー。この驚異的なハイパワーをもたらし
たのが、オフロードモデルの常識を打破って初
めて採用したツインカムであり、4バルブ、ヤ
マハ独自のYICSというハイメカニズムです。

ロッカーアームを持たず2本のカムシャフト
がダイレクトに4本のバルブを駆動するツイン
カム・4バルブシステム、YDIS、2.エキゾ
ースト、大容量エアクリナー、マフラーなど
によって吸排気効率を大幅にアップし、同時に
ペントルーフ型燃焼室、吸排気とも狭角18度の
バルブはさみ角、センタープラグ方式によって

燃焼効率を向上、さらにオイルシールやベアリ
ングなどの細かい点まで見直したロス馬力の低
減……こうした積み重ねが、従来モデルに比べ
て30%もアップした、27馬力のハイパワーを
実現させたのです。

もちろん、こうした高出力化とともに、新設計
のマフラー、エンジンのロングストローク化、
YDIS効果などによって低速性能も大幅に
向上させていることはいくらでもありません。
さらに、この低速から高速まで回転全域での
大幅なパワーアップが、新設計の6速ミッドシ
ョンとマッチして、文字通りトライアルからハイ
ウエーまであらゆる条件下で、最高の性能を発

揮するのです。

「1速はトライアルマシンなみの低レシオ、
そして6速は高速道路を余裕をもってクルージ
ングできるものです。特に高速道路での追越し
加速などでは、1と2速シフトダウンして全開
で加速すると、ツインカムならではのエンジン
音が実に快く響き、8000回転からの吹きあ
がりは、YDIS効果でまさに「一気」です」
とは、XT600の開発にも加わり、この「X
T250T」の実験を担当した若いスタッフの
コメントです。

このハイメカニズム、高性能で
従来モデル同等の軽量・コンパクト

このニューエンジンのもうひとつの特徴は、
こうしたハイメカニズムをフルにもり込み、飛
躍的な性能アップを果しているにもかかわらず
従来モデルとほぼ同等の軽量化・コンパクト化
を実現していることです。

「ツインカムは重い」というお客さまの固定
観念は真っ先に払しょくいただかなくてはなり
ません。このために、シリンドラヘッドまわりの
コンパクト化をはじめ、クロムモリブデン中空



- 大型バックミラー
- ハンドル切れ角49°
- ショーターレバー
- ブラッシュガード
- サイドブルスロットル
- 45w / 45wハロゲンヘッドランプ
- アルミアンダーブラケット
- テーパーローラーベアリング

- 中空リム
- マグネプレート
- 鍛造ブレーキレバー
- YZタイプ中空シャフト
- 255mmロングホイールトラベル
- セミ・エア式フロントフォーク
- DUブッシュ

XT250Tのおもなセールスポイント

- 12ℓ大容量フュエルタンク
- キー付大型タンクキャップ

- AC/DCレギュレーター

- ノンフューズブレーカー
- 12V小型バッテリー

- 2WAYバッグ

- シールチェーン

- 18インチホイール、中空リム

- マグネプレート
- 鍛造ブレーキレバー
- 中空シャフト(YZタイプ)

- アルミリンク(グリスニップル付)
- アルミリヤアーム
- 220mmロングホイールトラベル

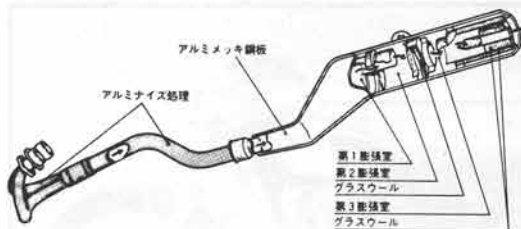
- 中空シャフト(YZタイプ)

- 可倒式シフト/ブレーキペダル

- 本格派エンジンガード

- パワースクーブ

- ツインカム、4バルブ、YDIS
- オートデコンプ
- デュアル・エキゾースト
- 6速ミッション●バルンサー
- マグネヘッドカバー、マグネケースカバー、オートカムチェーンテンショナー、サイレントチェーン



高価なアルミコーティングで防錆処理をしたエキパイ&マフラー

さらに、従来の「XT250」のコンプレインでもあったエキパイ・マフラーの防錆対策は、特に留意しています。

高価なアルミコーティングで防錆処理をしたエキパイ&マフラー

つまり、デュアルエキゾーストパイプには高価なアルミナイズ処理を施し、またマフラーにはアルミメッキ鋼板を使って、ほとんど錆びない排気系としているのです。

これらは、いずれも



鉄素材にいく層ものアルミメッキを施し、表面に耐熱黒色塗装を加えたもので、アルミナイズ

処理で表面に約1000ミクロンのアルミ層を持たせています。

デュアルパーパス最大のホイールトラベルを誇るセミエア式フロントフォークとニューリンク式モノクロス・サスペンション…… 存分にフィードバックしたレーシング・テクノロジー

動力性能の飛躍的なアップにあわせて、車体関係も大幅な性能向上を果たしています。これはデザイン・スタイリングとあわせて、4サイクル、オン・オフモデルの究極は、エンデューロ

レーサーTTモデル、というヤマハ独自のポリシーのもとに、レーシング・テクノロジーを存分にフィードバックしたものです。

まず、リヤには83年YZシリーズと同タイプ



こうしたレーシング・テクノロジーのフィードバックは、さらに細部に及びステアリングのヘッドパイプにテーパローラーベアリングを、またリヤアームのピボット部にニードル・ベアリングを採用しているほ

ら前後サスのホイールトラベルは、フロント255mm、リヤ220mmとデュアルパーパスモデルとしては最大のもので、特に、オフロードにおける走破性、操縦性、走行安定性そして乗り心地をも大幅にアップさせています。

そして、フロントフォークは、セミエア式としてインナーチューブにDUメタルを装備して、作動性を高めています。さらに、これら前後サスのホイールトラベルは、フロント255mm、リヤ220mmとデュアルパーパスモデルとしては最大のもので、特に、オフロードにおける走破性、操縦性、走行安定性そして乗り心地をも大幅にアップさせています。

には、ぜひご紹介いただきたい「XT250T」のセールスポイントです。

113kgの軽量化設計

デュアルパーパスモデルにとって「軽さ」の持つ意味は、きわめて大きなものですが、この「XT250T」では、前記のエンジンの軽量化とあわせて車体関係でも徹底的な軽量化を実施しています。

つまり●軽量・高剛性アルミリヤアーム●アルミ鍛造リンク●アルミアンダーブラケット●アルミ鍛造ブレイキ・カムレバーとマグネ・ブレイキプレート●中空アルミリム●アルミエンジンガード●前後アクスルとピボットシャフトの中空化、さらに●高張力鋼管タイヤモンド型フレームなどの採用によるもので、この結果、乾燥重量113kg、という軽いマシンに仕上がっているのです。

この数字は、従来のXTに対して1kgのダウン！ かずかずのハイメカニズムと充実した装備を採用し、飛躍的な性能向上を果してこの軽量化は、大いに注目いただきたいところで、この充実したデュアルパーパスのための機能と装備

さて「XT250T」は、機能や装備の面でも究極のデュアルパーパスモデルとして徹底的な充実をはかっています。

トライアルランやオフロード走行のレベルアップに直結する●49度のハンドル切れ角●ブラッシュガード●ブレイキ・チェンジの可倒式ベダル●大型可動式オフセットバックミラー●強制開閉式サイドブルストトル●フレキシブルフラッシュャスター。

さらに●45W/45Wの明るいハロゲン・ヘッドランプ●12ℓの大容量フェエルトタンクと残量確認が簡単に行える大口径キー付タンクキャップ●2ウェイバッグなどの装備。そして●YZタイプ分割式レバーホルダー●オートカムチェーンテンショナーなど整備性の向上をめざしたもので、まさに充実の機能・装備です。

NEW SR400/500新発売!

●カラー：インジゴブルー
スーパーレッド



「魅力あるビッグシングル。」流行にとらわれない伝統的バイク「振動・排気音がよい。」といった理由から根づよい人気を保つSR400/500がマイナーチェンジとなって新発売されています。主な変更点は以下のとおりです。
①ピストンリングの材質改良によるオイル消費低減とオイル潤滑性向上。
②セミエア式フロントフォーク

- の採用。
- ③シールドチェーンの採用
- ④ハロゲンヘッドランプの採用。
- ⑤寒冷時でも硬質化せず、型くずれ、シワ寄りの少ないウーリーナイロン製シート地採用。
- ⑥フレキシブル・フラッシュャスターの採用。
- ⑦コンチネンタルタイプ・メッキハンドルの採用。

水冷、DOHC、4気筒、16バルブ 迫真のミドルスーパースポーツ

XJ400Z/Z-S

ラグジュアリーなオーガニックフォームに先進メカを満載し、最強のパフォーマンスを備えて新登場の「XJ400Z/Z-S」。それはビッグバイクに限りない憧れを抱きつづけるミドル

クラスユーザーの夢をかたちにした話題のニューモデル。「XJ」は再び、400ccスーパースポーツの代名詞へとダッシュします。

水冷、DOHC、4気筒、16バルブ、YICS…… この先進メカが、クラス最強のパフォーマンスをもたらした

クラス最強の55馬力、1リッター当り137.5psのハイパワー、そして3・22kg/psのパワーウェイトレシオ——このスーパーパフォーマンスこそ、きわめて幅広い400ccクラスユーザーのすべてを魅了する「XJ400Z/Z-S」最大のセールスポイントです。

これを生み出しているのは、16バルブの採用、ショートストローク化、狭角18度のバルブはさみ角などによって吸排気効率をアップし、同時にペントルーフ型燃焼室を採用して燃焼効率を高めさらにヤマハ独自のYICSや電子進角式フルトランジスタ点火などが相まって高圧縮高回転、高出力を実現したものです。

しかし、こればかりではありません。「XJ400Z/Z-S」では、さらには次のような手法で

徹底的なハイパワー追求を行なっているのです。その第1は、シリンドラスリーブの上面、各ボア4カ所に設けたバルブ逃げ加工です。これは四輪レーシングマシンと同じ手法のもので、これにより大径4バルブのマスク

ングをなくして、中低速性能を全く犠牲にすることなく高出力を果しているのです。

そしてもうひとつは、バルブウエスト径やクランクジャーナル径の減少、各気筒によるピストンクリアランスの変更、カムチェーンのサイズダウン、ジェネレーター・レイシャフトの軽量化……などによってロス馬力を徹底的に排除していること。

単なるハイメカニズムの採用にとどまらない「XJ400Z/Z-S」ハイパワーのヒミツです。

16バルブ効果を100%ひき出す 新採用の水冷システム

そして、この最強のパワーを長時間にわたって安定したものとして信頼性を高めているのが新採用の水冷システムです。これは「DOHC4バルブ本来の高性能を100%引き出すためには、水冷化によるヘッドまわりの熱問題解消が不可欠」というヤマハ独自のポリシーによるもの。冷却系は2・2ℓ容量、電動ファン、サーモスタットを装備し、ラジエターは総アルミ製シングルコアタイプの軽量設計です。

リアフルダンパー装備のセミエアフロントフォーク にニューリンク式モノクロス・サスペンション、対向ピストンキャリアパー式トリプルディスクブレーキ

45馬力から55馬力へ、エンジンの飛躍的なパワーアップにあわせて車体関係も走りの機能を重点に大幅なレベルアップを果しています。

しかも、この水冷システムは、従来のXJと同じシリンドピッチの中にウォータージャケットを組み込んだもので、エンジン幅を広げることなく水冷化に成功。ウォーターポンプもジェネレーター下にセットし、おなじみの背面ジェネレーター方式と相まって、ほぼ従来のXJ同等のナロウ&コンパクトなエンジン幅にまとめ、十分なバンク角を確保しています。同時に、シリンドヘッドカバー、ケーシングカバー、オイルパンなどにはマグネシウム合金を使用し軽量化を徹底。水冷化、16バルブ化にもかかわらず、軽量・コンパクト・ナロウ。というXJ400パワーユニットのすぐれた特徴をそのままひきついでいるのです。

16バルブ化でさらに高まるYICS効果

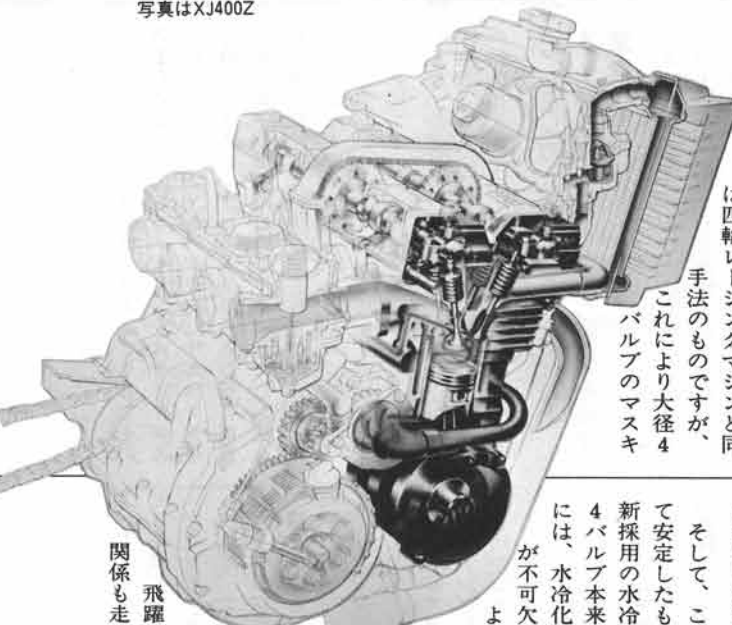
ヤマハ独自の4サイクルエンジン技術YICSによる55馬力のハイパワーとリッター53km(60km/h)の低燃費の両立も、大きなセールスポイントのひとつです。特にZ/Z-Sでは、16バルブ化によって副吸気通路の吹き出し口がシリンド円中心よりも一段とオフセットされていますが、これがそのままスワール効果を高め、YICSの威力をアップしているのです。

まずセミエア式フロントフォークには、RZ

250Rにも採用して好評のリアフルダンパーを果しています。



写真はXJ400Z





ーを装備してコーナリング時の挙動変化を安定させ、同時にソフトな乗り心地を生み出しています。このリアアブダンバーも、RZRでは伸び側で作用するのに対し「XJ400Z-ZS」では圧側の減衰力も変化させるタイプです。また、このフロントフォークには、アルミダイキャスト製のスタビライザーも装備。フロントフォークのねじれ剛性を高めてコーナリング時の操安性を向上させています。

- 左手元リンク式チョーク
- ブッシュキャンセル・フラッシャースイッチ
- ブラックアルマイト処理ジュラ銀セラレート・ハンドル
- ライダープロテクションにすぐれたビキニタイプ・カウリング(Z-S)
- 電気式タコメーター、フュエルメーターを含む豪華4連メーター
- 60W/55Wの明るいハロゲンヘッドランプ(Z-Sは角型)
- 高低2音のダブルホーン
- クリアランスランプ兼用フラッシャー
- アルミ鍛造アンダーブラケット
- アルミダイキャスト・スタビライザー
- 軽量・アルミラジエーター
- リアアブダンバー付セミエア式フロントフォーク
- 対向ビストンキャリアー式ダブルディスクブレーキ
- 90/90H18ニューバターンタイヤ
- ニューイタリックキャストホイール
- クラス最高55PS/11500rpm
- 水冷・DOHC、4気筒、16バルブ、YIGS、電子進角式フルランジスタ点火
- 軽量・高剛性の高張力鋼管ダブルクレードルフレーム

そして、リヤ・サスは、RZ250Rでその効果を立証しているニューリンク式モノクロス・サスペンション。そのすぐれたサスペンション特性、ライジングレート効果とあわせて重量マスの集中、重心位置の低下を可能にした構造が、操安性の向上に大きく寄与していることは、ご承知のとおりです。

そして、ブレーキは対向ビストンキャリアー式のトリプル・ディスクブレーキ。パッドへの作動圧力がダイレクトに働く対向ビストン型の採用で、ストッピングパワーは、動力性能にしっかりとマッチした強力なものとなっています。

**マン・マシンの一体感を追求した
オーガニックのフォームボディが生み出す
堂々たる車格**

さて、XJ4000といえば、見た目にはビッグバイクなみの堂々たる車格を持ちながらひとたび跨ってみるとジャストフィットのポジション、すぐれた足つき性で驚くほど取りまわしが容易というのが定評ですが、この個性は「XJ400Z/Z-S」でも、そのまま受け継がれています。

つまり、軽量・高剛性のダブルクレードルフ

レームをベースとした車体は、XJ750E-IIや'83年ヨーロッパ向けXJ9000と同じオーガニックフォーム。マン・マシンの一体感を追求した、このデザインが、理想的なスーパースポーツポジションとナナハンなみの堂々たる車格を両立させているのです。

以上「XJ400Z/Z-S」の最も特徴的なセールスポイントをご紹介しましたが、最後に「XJ400Z/Z-S」開発スタッフのピックアップしたZ/Z-Sならではの優位点を紹介します。

つまり、なみいるライバル・モデルとの比較テストでも次のような各点は明確に抜きん出ているという点です。それは●高速域パワーファイリング●直進安定性●前後ブレーキ性能●ライディングポジション●フラッシャーをはじめ各種スイッチ類操作性●低回転のスムーズさ……どうぞ、これらの特徴を、お客さまともしつかりとご確認ください。さらに、パラフォードならでの整備性の良さも、「XJ400Z/Z-S」の大きなセールスポイント。フォーミュラIIIレースなどへ出場されるお客さまにも、最強のニューマシンの登場なのです。

NEW RZ125新発売!

●カラー:チャビレッド/ホワイト
ニューヤマブラック/ホワイト

- ヤマハ・2サイクルテクノロジーを結集したビュア・スーパースポーツモデルRZ125が、エンジン性能の向上、ビキニタイプのカウリング装備など完成度をさらに高めて新登場します。主な変更点は下記のとおりです。
- ①シリンダーの吸気ポート形状の改良、マフラー内部構造改良でクラス最高22馬力を発揮。
 - ②サーモスタットを新採用した水冷システム。
 - ③ビキニタイプ・カウリングの採用。
 - ④ハロゲンヘッドランプの採用。
 - ⑤トリップメーター装備のスピードメーター。
 - ⑥斬新なニューカラーリング。



XJ400Z/Z-Sのおもなセールスポイント

●大容量19ℓ入りフュエルタンク

●790mmの低シート高、ウーリーナイロン製シート地

●ニューリンク式モノクロス・サスペンション

●アルミダイキャスト・グラブバー

●2球式ビルトイン・テールランプ

●耐久性にすぐれたシールドチェーン

●対向ピストンキャリバー式ディスクブレーキ

●精悍なブラックローム仕上げステップアップマフラー(Z-S)

●110/90H18ニューパターンタイヤ

RZ350-R 新発売!

●カラー:チャビィレッド/ホワイト
ニューヤマハブラック/ホワイト

(5月15日より新発売!)

さきのRZ250Rの登場についでRZ350Rが新登場します。クラス最高の55馬力、750ccクラスをはるかにしのぐパワーウエイトレシオ2.63kg/psという数値が、何よりも雄弁にハイポテンシャルぶりを語っています。なお、主な特徴は下記のとおりです。

- ①クラス最高55馬力を発揮するニュー・エンジン。
- ②ヤマハ・レーシングテクノロジーY.P.V.S採用。
- ③電子進角式CDI点火方式の採用。
- ④サーモスタット装備の新水冷システム。

- ⑤2.63kg/psと、750ccをしのぐパワーウエイトレシオ。
- ⑥ワイドタイプのニューダブルクレードルフレーム。
- ⑦バリアブル・ダンパー装備のセミエア式フロントフォーク。
- ⑧ニューリンク式モノクロスサスペンション。
- ⑨トリプル・ディスクブレーキ。
- ⑩ニューイタリックタイプのキャストホイール。
- ⑪センター・タコメーターパネル。
- ⑫ビキニタイプのカウリング。
- ⑬2球式大型テールランプの採用。

▶RZ350R新発売にあわせ、予約セールを実施します。お客さまへのご案内どうぞよろしく。



『この春もどんどん打って出ましようよ』

『定地定例の展示会で勝負だね』



春商戦まっさかり。3月19、20日の「いち日バイクデパート」も各地でもりあがりを見せるなど、お店の外へどんとどんと打って出るご商売が、今年もにぎやかにくりひろげられています。今月ご登場いただいた「ピットクルー」(渡會安次社長/千葉原船橋市)さんも、本店オープン3周年セールと支店(YSP千葉中央)オープン1周年セールをかねた店頭展示試乗会を2週間にわたっていち早く開催。お店の外へ打って出るご商売の快調なスタートダッシュを切っています。

成田街道から国鉄津田沼駅方面に入る商店街沿いの(有)ピットクルーさん(渡會安次社長●店舗面積14坪●展示台数30台●立地条件●商店街、住宅地●スタッフ6名)

■展示会を活気づけるには

「引換券」付きの
プログラムが効果的ノ

宇田川 オープン3周年記念セール中ですが集客はまずまずといったところですね。とくに「宝さがし」とか「模擬店」なんかに人気集中のご様子ですが……

渡會 「宝さがし」はすごく好評ですよ。

宇田川 三角クジをバイクに隠しておくアノ方法でしょう。

渡會 そうです。点数を書いた三角クジをレックシールド、ステップマットの下、シートの下なんかに入れておいて、店内と店頭のバイクから1枚ずつ引いてもらう。その合計点数に応じていろんな景品をプレゼントしているんですが、盛りあがっていますよ。

宇田川 合計点数がでたところで、お店のスタッフの方とジャンケンをして、お客さんが勝ったら点数を倍にしてあげたでしょう。あ



「あとのフォローがなければ、お客さんは入れ替わってしまうだけ。電話での初回点検、6か月点検の呼びかけを、いま徹底しているんです」と渡會社長(写真右)。担当セールスとの会話にも意欲的な言葉がポンポンとび出します。

れがお客さんにとっては楽しくて、それで店内もワーツとにぎやかになった。(笑)

渡會 ほかにも試乗会、ビデオ映写会、無料点検サービス……などが展示会のメニューだったんですが、無料点検サービスはあまり反応がなかった感じですね。以前、DMで無料点検サービスをやったときは大勢来てくれたのにね。

宇田川 それはね、社長。集客用チラシの中に宝さがし、とか模擬店とかの、利用引換券を入れたので、それが集客と結びついたんじゃないかと思うんです。

渡會 そうそう。お客さんはみんなあの「引換券」を切り取って持って来てくれますからね。無料点検サービスにしても「無料点検」ご利用引換券」のような工夫をチラシの中に入れておけばもっと大勢来てくれたかもしれないね。でも一時期に比べ、チラシ自体の集客力は弱くなっていると思いますね。今回もB3版の2色刷りチラシを10万入れたんですがね。

■実販率をあげるには、 免許教室と必ず連動開催すること

宇田川 ビットクルーさんでは今、朝日と読売ですよ、チラシを入れているのは。媒体や配布地域を変えるのもひとつの工夫だと思っ

うんですがねえ。どうですか？
渡會 そうですね。それと実販率をあげるにはやはり免許教室とドッキングさせた展示会開催がいいよね。

宇田川 店頭での展示会、他業種とタイアップしての展示会、いずれにしてもアフターフォローがいちばんのポイントですからね。ビットクルーさんの場合は、免許教室からの実販率がイイですよ。

渡會 免許教室の受講料を7500円に設定しているでしょう。これがイイみたいですね。

●宇田川孝一セーブルス

(ヤマハ千葉千葉営業所)
スキー、テニスと趣味は多彩。55年2月
ヤマハ入社。以後ヤマハ千葉勤務。法政
大学経済学部卒。東京都出身の29歳。



最初は、チョット高い、なんていう感じをうける方もいるかもしれませんが、話しがまとまったお客さんには、そのうち5000円を車両代に振替えるシステムなので、結局は受講するときに車種を決めてしまうお客さんが多くなって、それで実販率も伸びてくれるというわけ。

■外へ打って出る展示会は 定地・定例が原則。

日程は土日月火水が理想的！

宇田川 それと外に打って出る商売を考えると、やはり欠かせないのが他業種、例えばスーパードのタイアップですよ。西友での展示会、今年も期待したいですからね。

渡會 お客さんが一番心配しているのは、「安く買っても修理してもらえないんじゃないか

な」ということだと思うんです。だから知名度の高いスーパードのタイアップでなければ。

宇田川 そういえば、東京だと同じ東急系のスーパードでも「東急ストア」よりも「どうき

ゆう」で展示会をやった方が実販率がよかったです。なんていう話しを聞いたんですが、もしそうなら、やっぱり知名度が高くて、より高級感のあるこの方がいいということですね。

渡會 なるほどね。まあ実際の展示会では「次回はいつやるんですか」なんていうお客さんからの問い合わせが多いので、定地定例開催の必要性を感じますね。

宇田川 今まで、展示会といえば金土日が普通ですがその辺はどうでしょう。

渡會 最近うちの商品の動きでみると、土日に家族づれで来て、一日おいて火曜、水曜あたりに決めに来るお客さんが多いんです。

だから、展示会の日程組みも土日月火水くらいが理想かもしれませんね。

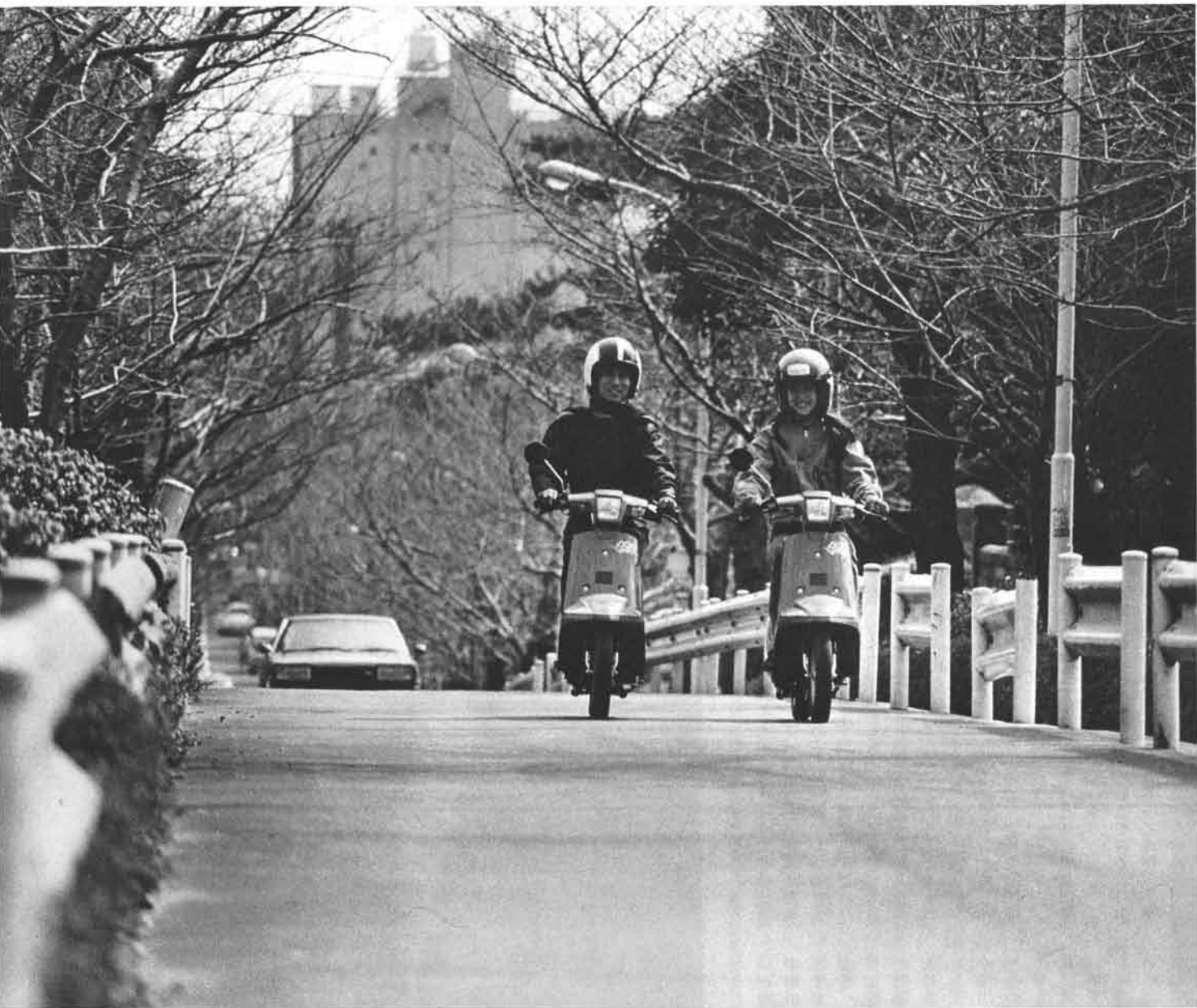
宇田川 そして最後は現場のしゃべり方ひとつですね、やっぱり。

渡會 そう。うちのスタッフの女の子、橋本さんがすごくいい成績なんです。おっとりした話し方で、一生懸命に語りかける。しかも素朴さがあるので、スクーター層の人にはとても受けるみたい。

宇田川 お客さんが「この人に話しかけたら売りつけられるんじゃないかな」というイメージをもってしまえばダメ、ということですね。気をつけなくちゃあね。

いすれにしても、ビットクルーさんは若いお店。まだ、イメージが固定化しないうちにいい印象をお客さんに与えることが大切ですね。4年目の春、頑張りますよ！

〔太田克彦氏プロフィール エッセイスト。42歳。バイクの本をディレクトしたことから、一挙にバイク・ファンへ。オン・オフ両刀使いとして、多忙の合い間にツーリングを楽しむ。〕



とお金がなくなって、服まで手がまわらないのね。とくにヘルメットやブーツは、お金のあるときごとに買うでしょ、だからなかなかトータル・ファッションにならない。

上野にバイク・ショップが並んでいるけど、ああいふ店については？

「なんとなくはいいにくいですね、とくに女性だと。」

むかしバイクに乗るひとつ、たいてい黒い皮ツナギ着てたでしょ、あれまったく別の人種がいるみたいでコワかった。そんな感じに似てますね、上野は…。

いまはふつう街の中を歩ける姿でバイクに

乗るひとが多くなったでしょう、すごくいいことだと思うの。だってこちらもごく自然に『コンニチワ』っていえるもの。ライダーの美意識が、バイクを見てもそう思うけど、むかしとまったくかわったみたい。

わたしのお店はじめたときは、まるでバイクの知識なかったんです。たまたまGPAと提携の話があって、それで初めてライダーズ・ファッションの店を考えたの。だからお客さまにいろいろ教えてもらうのね、バイクのこと。でもこちらはファッションの側からライダーにむかって意見をいうでしょ、そうするとメカのことに詳しいお客さまがファッショ

ンにアプローチしてくるという関係だからうまくいくみたい。もしこっちが何から何まで専門家になったら、お客さまきっと趣味を押しつけられたって気になるんじゃないかしら——なるほど、で、あなたはいつまでもスクーターに乗ってるつもり？

「ほんとに中型とりたーいっ！ でもギヤつきのクルマなんて、ほんとに自信ないんです。まえにタンデムで湘南の海までトバしたことがあるから、大きなバイクの魅力はわかっているんです。でも、こうやってバイクについて話してるでしょ、本気で免許とろうかなって気になってくるの」

ファッション・モデル。日ごろぼくとはあまりつきあいのない人たちだ。けれどもタレントから政治家まで、多くの有名人にスキャンダルを起こさせる張本人だといったことは、なんとなく知っている

榊林美子さんという、ファッション雑誌やチョコレートCMでおなじみの売れっ子モデルがスクーターに乗って、街を走りまわっていると聞いて、ぼくは興味をもち、会うことにした。

ポスターやテレビCMで見るモデルさんは美しいが、実際に会ってみるともっと美しい。なぜなら全身に血がかよっていることが、実感としてわかるからだ。

思ったとおりスクーターで走る姿はキマッている。ヘルメットからはみ出した長い髪が、左右にゆれる。それが細いシルエットとよく釣りあっている。ライダーって後ろから見ただけで、どうして男女のちがいがすぐわかるのだろうか。晴れた日の昼さがり、風も暖かく、東京港区のルンルン道路を、楽しくクルージングした。

この日、彼女が羽織っていた、カーキ・イエローのブルゾンは、荒いデニムでザックリして、とても着心地よさそうだった。「どこで買ったの?」と聞いたら、「自分の店で」ということだ。榊林さんは、麻布にあるライダーズ・ブティックのオーナーでもある。

さっそく案内してもらって彼女の店まで行った。ぼくも暗示にかかりやすいほうだから、「似合う、似合う」といわれて、すぐその気になってしまった。エイッ、買ってしまおうか!

「ポケットの数が多いいのいいでしょ。サイズはMとLとがあるんだけど、ちょっと小サイズにできてます」

——色の数もけっこうあるんだなあ。

「ライダーの人たちの服って、ハデなほうがいいと思うの。わたしもまえば目立つ色がちょっと恥ずかしかったんだけど、こんな経験があったんです。雨の日の夜に、黒い服を着て、黒いバッグを持ち黒い傘をさして、交差点で信号が変わったから横断歩道を渡ろうとしたら、右折してきたクルマがすごい勢いで突っこんできて、もうすこしてハネられそうになったんです。

歩いているだけでもこれだから、ライダーにとっては被視認性ももっと大切なんだなあ、あらためて思いました。まえば昼間でもライトつけてるオートバイを見て、なんであんなに目立つ精神が強いんだろうと思ったけど、やっと理由がわかりました」

——このお店は、ずいぶん明るいね。

「入口に大ガラスを入れたの。歩いているとお店ぜんぶがショウ・ウィンドウになるわけでもヒヤッとすることもあるんですよ。

このあいだも一台のボルシェが、お店のまえてスピンして、あと数センチでこのガラス突き破るところだったんです。お店のまへの道は信号がなく長いカーブだから、ライダーやドライバーにとって、コーナリングを競うのにカッコウの場所なんですね。それだけにここは事故の数も多いんですよ」

——あなた自身は事故の経験は?

「ありません。ただ、アクシデント寸前ということはあった、コワカッター。スクーター

で左の路肩から、ライトパンの横をスリ抜けようとしたら、急に幅寄せしてきたね。

それで、そのときは事なきを得たんですが、二輪車のアクセルってとっさの場合、手がもとに戻らないのね。クルマならすぐアクセルから足を離すでしょ、でもわたしスクーターに乗ってたんですけど、手が鉄の塊になったみたいにグリップを固く握ったままだった——たしかにそういう場合の訓練なんてあまりやらないもんね。50ccバイクは面白い機種がいっぱいあるけど、なぜスクーターを選んだんですか?

「まえばわたし自転車タイプに乗ってたの。お店のまえにそれを停めといたら、クルマが歩道に乗りあげてきてベシヤンコ。そのときどうせならスクーターにしようと思って保険金で買いなおしてもらったの。でも、『さらば青春の光』って映画があったでしょ? あれ見てからずっとスクーターってカッコいいなと思いつけていたとこあるのね。

実際に乗ってみるとスクーターは、荷物は積めるし、服装も極端にいえばスカートだって乗れるでしょ、とても便利なんです」

——そうか「さらば青春の光」か!『ローマの休日』じゃなかったのね。

「いやだ、世代がちがうわ!『ローマの休日』は、まえばテレビでやってたけど見なかった——榊林さん、なれてるせいかスクーターの操縦うまいね。ぼくはいつももっと排気量が大きいのに乗るせいか、ニーグリップできないスクーターでは、あんなに気持ちよさそうにスイスイとはいかない。

「ニーグリップって何? ああ、タンクをひざではさむの? わたし、まえば自転車タイプだし、ニーグリップの感覚ってわからない。

クルマに乗っているときは、まえば走っているスクーターを見て、コワイなあと思ったんだけど、スクーターに乗っちゃうと、もうライダーとしての自分になっちゃう。わたしっていつもその場で自分中心になりきるのね」

——モデルって仕事かそうさせるのかな? おもにこれまで走った面白いとこは?

「わたし生まれも育ちも青山だから、その周辺を出たことあまりないんです。仕事で遠くへいくことはあるけど、ふつうの行動半径はものすごく限られているのね。でも、知ってる道だから気軽に走れるということはあるみたい——まわりのライダーとスレちがって、どんな感じがしますか?

「なかにはカッコ悪いな、と思うひともいますね。わたしバイクについては、まるでわからないけど、服装がどうしてこんなに上から下までチグハグなんだらうと思って、おかしくなることがある」

——ライダーってね、いいバイク買っちゃう





熟成のヨーロッパ スーパースポーツ

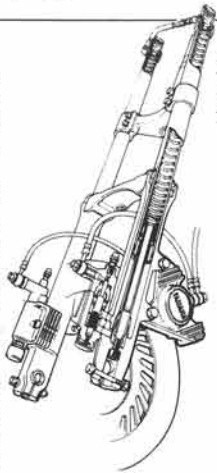
XJ750E-II

マン・マシンの体感を追求したオーガニックフォームデザインも堂々と、ヨーロッパスーパースポーツ「XJ750E-II」の新登場。売りどころはもちろん、ズバ抜けた走りのよさと、大幅にグレードアップした車格・装備です。

リングをアップしたものの。そしてこれらがテストライダーをして「6000回転からの加速感

は、一段とアップした動力性能にあわせて大幅に強化した足まわりです。
まず、前後タイヤには仏ミシュランのHグレードタイヤを標準装備しています。これは同時開発のヨーロッパモデル「XJ900」を通じて、ヤマハとミシュランの共同開発によるもので、Hグレードとは210km/hまでの高速走行をカバーするよう設計された国内では最高性能のタイヤです。

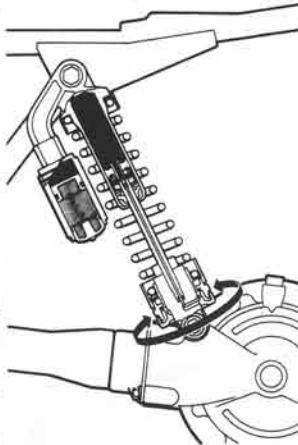
そして、アル鍛製スタビライザーを装備したフロントフォークは、イコライザー付セミエアタイルを採用。アジャスタブル・アンチダイブ機構も装備。さらに、インナーチューブ、アウトチューブ両サイドに、DUMETALをセットするなど、最新鋭テクノロジーをすべて投入しています。



さらにリヤサスペンションは、新たにド・カールボン式（高圧窒素ガス封入式）のプログラムサスペンションを採用しました。これも、ガスを別体式とし、1名乗車、2名乗車、2名+

絶品」といわしめるほどの圧倒的なスロットルレスポンスを生み出しているのです。

「XJ750E-II」の最大のセールスポイントは、一段とアップした動力性能にあわせて大幅に強化した足まわりです。
まず、前後タイヤには仏ミシュランのHグレードタイヤを標準装備しています。これは同時開発のヨーロッパモデル「XJ900」を通じて、ヤマハとミシュランの共同開発によるもので、Hグレードとは210km/hまでの高速走行をカバーするよう設計された国内では最高性能のタイヤです。



荷重……などさまざまな走行条件にあわせてバネ定数、ダンパーアジャストをあらかじめプログラムし、容易に行なえるインシヤル調整だけで減衰力調整もあわせて行なえるものとなっています。

こうした強力な前後タイヤ、前後サスペンションは、新開発の軽量・高剛性の高張力鋼管ダブルクレードル・フレームやジュラ鍛ハンドアル鍛アンダーブラケット、軽量ニューキヤストホイールなどといまわって、直線で、タイトコーナーで、またブレーキング時に、急加速時に……とあらゆる走行状況のもとで、つねに最高の安定性を発揮するのです。

そして、この最高度の走行性能を支えるストッピングパワーも強力です。つまり対向ピストンキャリパーのフロント・ダブル、リヤ・シングルトリプルディスクブレーキ。しかも235φのディスクプレートは、スロットレイド、ベン

チレイテッドタイプとして、バネ下重量を軽減し、同時に放熱効果を高めて、ブレーキの信頼性を大幅に向上させています。

卓越した取りまわしのよさ

こうした充実した装備と堂々たる車格を持ちながらも車両重量は従来の「XJ750」に対し、わずか1kgアップの215kgにおさえています。

これは、ハンドル、アンダーブラケット、フロントレスト、ペダル等にジュラルミン鍛造部品など高級・軽量部材を積極的に使用した成果。この軽量ボディは、オーガニックフォーム・ボディ、785mmのシート高を持つ足つき性にすぐれたウーリーナイロンシート、48度の深いバンク角、一新したトレール、キャスターなどといまわって、軽快な操安性を生み出しています。

つまり、コントロールラブルな「ナナハン」として定評を集めるXJの個性は、このE-IIでもしっかりと継承されているのです。

欧米モデル8年の実績が活きる 国内初のプログラムキャンセル フラッシュャー

モーターサイクルへのコンピュータ技術の導入にいち早く取組んできたヤマハは、この「XJ750E-II」で、さらにその活用範囲を広げています。つまり、電子トリップ、プログラムキャンセル・フラッシュャー、速度警告、時計の4機能をマイコン制御しているのです。

特に、プログラムキャンセル・フラッシュャーは、国内モデルとして初めて採用されるもので、トランジスタ・リレーを採用して瞬点式とした

エアスクープ、 オイルリザーバタンクも精悍に、 リッター100PSに迫まる ニューエンジン

ビッグバイクユーザーには、すっかりおなじみの背面ジエネレーター方式のナロウなエンジン、DOHC、YICS・4気筒は、リッター100馬力をめざしてパワーアップしたものでエアリナー容積、キャブレターホアのアップから新設計のマフラーまで一連の吸排気系統の変更をはじめ、圧縮比のアップ、2段階角式フルトランジスタ点火の採用などによって、国内モデル最高の72PS/9000rpmの実力を確保しています。

中でも2段階角式フルトランジスタ点火の採用は、圧縮比アップにもなる低速域ノッキングを完全に解消し、中低速域のパワーフィーリ

●特集：いまたけなわの春商戦に、強力新商品9機種一挙に新登場！

XJ750E-IIのおもなセールスポイント

●カラー：スーパーレッド、ニューヤマハブラック

●22ℓ大容量フュエルタンク

●ウーリーナイロン製シート
785mmのシート高

●アルミダイキャストグラブバー

●小物入れ

●2球式大型ビルトインテールランプ

●ガス室別体式ドカルボン型プログラムサスペンション

●アルミ・マフラーブラケット

●120/90-18 65H ミシュランタイヤ

●ニューイタリックタイプキャストホイール

●DOHC 4 気筒

●Y I C S

●72PS/9000rpm

●パワーウェイトレシオ3.0kg/PS

●ジュラ銀セパレートハンドル

●センタータコ式3連メーター

●プログラムキャンセル・フラッシュャースイッチ

●カウリング標準装備

●60W/55Wハロゲンヘッドランプ

●クリアランスランプ兼用フラッシャー

●アル銀アンダーブラケット

●アルミダイキャスト・スタビライザー

●120/90-18 65H ミシュランタイヤ

●アジャスタブル・アンチダイブ
●イコライザー付
●セミエア・フロントフォーク

●対向ピストンキャリアベンチレイテッド・ディスクブレーキ

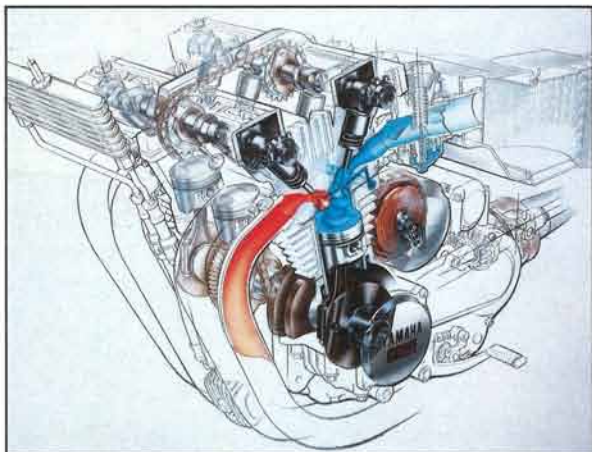
●エンジン冷却エアスクープ

●オイルリザーバタンク

XJ750E-II仕様諸元

●全長2190mm ●全幅720mm ●全高1245mm ●シート高785mm ●軸間距離1480mm ●最低地上高150mm ●乾燥重量215kg ●舗装平坦路燃費42km/ℓ (60km/h) ●登坂能力31° ●最小回転半径2.5m ●制動停止距離14m (50km/h) ●エンジン4サイクル、DOHC、並列4気筒、749cc ●内径×行程65×56.5mm ●圧縮比9.5 ●最高出力72PS/9000rpm ●最大トルク6.2kg-m/7000rpm ●始動方式セル式 ●潤滑方式強制圧送ウェットサンプ ●エンジンオイル容量3.6ℓ ●燃料タンク容量22ℓ ●キャブレターHSC33(日立) ●点火方式電子進角式フルトランジスタ ●点火プラグBP7ES、BP8ES(NGK)W22EPU、W24EPU(ND) ●バッテリー(型式)12V14AH(YB14L) ●1次減速(比)ギヤ(1.672) ●2次減速(比)シャフト(3.984) ●クラッチ湿式多板 ●変速機リターン式5段 ●変速比①2.187②1.500③1.153④0.933⑤0.812

●フレーム高張力鋼管ダブルクレードル ●キャスト27° ●トレール114mm ●タイヤ(前)100/90-18、56H(後)120/90-18、65H ●ブレーキ(前)油圧式ダブルディスク(後)油圧式シングルディスク ●ディスク径(前後とも)235mm ●懸架方式(前)テレスコピック(後)スイングアーム ●緩衝装置(前)オイルダンパー、エア、コイルスプリング(後)オイルダンパー、ガス、コイルスプリング ●ホイールトラベル(前)150mm(後)100mm ●ヘッドランプ12V 60W 55W(ハロゲン) ●マーカーランプ12V 3.4W ●テールランプ12V 8W ●ストップランプ12V 27W ●フラッシュランプ12V 27W ●メーター照明12V 3.4W ●各種パイロットランプ類12V 3.4W ●クリアランスランプ12V 8W



スイッチとあわせて、フラッシュャーの信頼性、安全性を大幅に高めています。
このプログラムキャンセル・フラッシュャーは、'75年ヨーロッパモデルRD250/350によってヤマハが世界に先がけて導入し、以来8年にもわたる実績を重ねているもの。
E-IIのマイコン制御タイプは、①ハンドル切れ角②車速③時間の条件をコントロールユニットにインプットし、ライターの走行中ウィンカースイッチを戻し忘れても、インプットされたいずれかの条件になれば自動的にウィンカー作動は停止するというものです。
その条件とは①ハンドル切れ角が右5度、左6度以上の時に、ハンドルを正位置に戻してから1秒間または4m走行した時。
②高速道路のレーン変更などのようにハンドル切れ角が①の条件に満たない時でも、作動開始から15秒経過した時。
③車速が10km/hに満たない時で、150m走行した時。
このように、「XJ750E-II」では、渋滞時の市街地走行から、高速道路のレーン変更まであらゆる条件下で、フラッシュャー・スイッチのキャンセルからライターの解放しているのです。



究極のデュアルパーパス **XT250T**

●カラー：ホワイト / ファイヤーレッド
 ホワイト / スペースブルー

XT250T仕様諸元

●全長2210mm ●全幅850mm ●全高1215mm ●シート高845mm ●軸間距離1430mm ●最低地上高270mm ●乾燥重量113kg ●舗装平坦路燃費58km/ℓ (50km/h) ●登坂能力33° ●最小回転半径2.1m ●制動停止距離14m (50km/h) ●4サイクル・ツインカム・4バルブ・単気筒・249cc ●内径×行程73×59.6mm ●圧縮比9.5 ●最高出力27PS / 9000rpm ●最大トルク2.2kg・m / 7500rpm ●始動方式キック式 ●潤滑方式強制圧送ウエットサンプ ●エンジンオイル容量1.6ℓ ●燃料タンク容量12ℓ ●キャブレタ

(型式)Y22PV(TK) ●点火方式CDI ●点火プラグD7EA、D8EA(NGK) X22ES-U、X24ES-U (ND) ●バッテリー容量(型式)12V3AH(FB3LB、GM33B) ●1次減速(比)ギヤ(72/23=3.130) ●2次減速(比)チェーン(48/15=3.200) ●クラッチ湿式多板式 ●変速機リターン式6段 ●変速比1.2, 923/21, 889/31, 363/41, 0.80/50, 889/60, 759 ●フレーム高張力鋼管ダイヤモンド型 ●キャスト28" 20" ●トレール117mm ●タイヤサイズ

(前)3.00-21 4PR(後)4.60-18 4PR ●ブレーキ(前後とも)機械式ドラム ●ブレーキ脚径130mm(前後とも) ●懸架方式(前)テレスコピック(後)モノクロス・サスペンション ●緩衝装置(前)オイルダンパー、エア、コイルスプリング(後)ガス、オイルダンパー、コイルスプリング ●ホイールトラベル(前)255mm(後)220mm ●ヘッドランプ12V45W、45W ●テールランプ12V8W ●ストップランプ12V27W ●フラッシュランプ12V27W ●メーター照明および各種ハイロッドランプ類12V3.4W

マジョリティ・スーパースポーツ

XJ400Z / XJ400Z-S

- XJ400Zカラー：スーパーレッド/クォーツシルバー
- XJ400Z-Sカラー：ニューヤマハブラック/スーパーレッド

XJ400Z/Z-S仕様諸元・()内Z-S

- 全長2100mm●全幅725mm●全高1115mm(1235mm)
- シート高790mm●軸間距離1420mm●最低地上高165mm●乾燥重量177kg(179kg)●舗装平坦路燃費53km/l(60km/h)●登坂能力28●最小回転半径2.5m
- エンジン4サイクル、D.O.H.C.、4バルブ、並列4気筒●総排気量399cc●内径×行程54×43.6mm●圧縮比10.5●最高出力55PS/11500rpm●最大トルク3.5kg·m/10000rpm●始動方式セル式●潤滑方式強制圧送ウェットサンプ●ラジエタ容量2.3ℓ
- エンジンオイル容量2.9ℓ●燃料タンク容量19ℓ●キャブレタ型式B/S30・三国●電子進角式フル

- トランジスタ●点火プラグD7E A、D8E A(N G K)、X22E S U、X24E S U(N D)●バッテリー容量12V12A H●バッテリー型式12N12A 4 A
- 1次減速(比)ギヤ(2.849)●2次減速チェーン(2.875)●クラッチ湿式多板●変速機リターン式6段●変速比(1.733、2.1947、3.1545、4.1240、5.1074、6.0931)
- フレーム高張力鋼管ダブルクレードル●キャスト25°40'●トレール106mm●タイヤ(前)190/90-18、51H(後)110/90-18、61H●ブレーキ(前)油圧式ダブルディスク(後)油圧式シングルディスク●フレ

- キティディスク径235mm(前後とも)●懸架方式(前)テレスコピック(後)スイングアーム●緩衝装置(前)オイルダンパー、エア、コイルスプリング(後)オイルダンパー、ガス、コイルスプリング●ホイールトラベル(前)150mm(後)95mm
- ヘッドランプ12V60W55W(ハロゲン)●マーカーランプ12V3.4W●テールランプ12V8W●ストップランプ12V27W●フラッシャランプ12V27W●メーター照明12V3.4W●各種ハイロッドランプ類12V3.4W

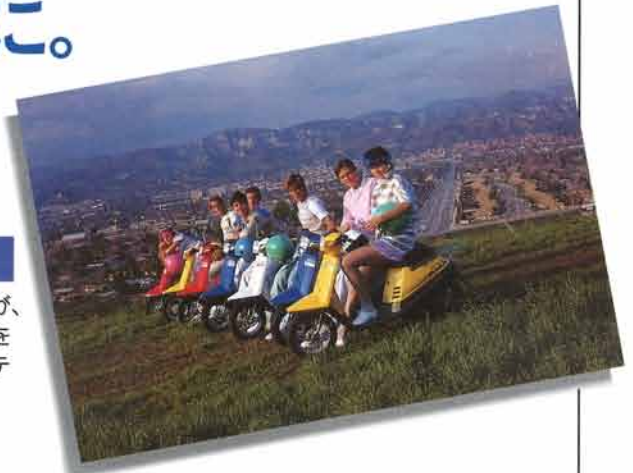
※写真右XJ400Z-S、左XJ400Z



楽しく、いきいきと、スポーティに。 ヤマハスクーターの 新しい個性をお客さまへ

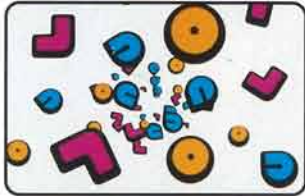
ジョグ、パッソルII、アクティブ、テレビCF

お客さまの行動半径がグ〜と広がる春。ヤマハスクーターの走りのよさが、キラキラと輝く春です。さあ、ニューヤマハスクーターでこの春のご商売を大いにもりあげてください。ヤマハではいま、ジョグ、パッソルII、アクティブの広告キャンペーンを展開中です。



君にあげよう、ピーターパン気分。

軽快なジョグの走りをストレートに印象づけるキャッチフレーズとともに、ウエストコーストの若者たちの楽しい姿が早くも話題のジョグ・テレビCF。登場期は、JOGの愉快なロゴタイプをアニメ化してジョグのネーミングとロゴタイプのかたちを徹底的に印象づけてまいります。



俺のスーパーズニーカー

パッソルIIの走りのよさとイメージキャラクター宇崎竜童さんのダイナミックなステージシーンをオーバーラップさせて、若者感覚いっぱいのパッソルII・ニューCF。4月中はもっか展開中の「CAN入りCAN・CANプレゼントセール」告知ももり込んでいます。



行動感性360°

新発売と同時にアクティブのテレビCFもスタートします。登場編は、ハイオリティなアクティブのつくりを鮮明に表現したのも、ダイナミックなサイドライン、メカニカルなインストールメント・パネル、印象的なシーンの連続が、アクティブの徹底した機能美を強烈にアピールします。



INFORMATION FROM YAMAHA

●詳しくは担当のセールスマンにお問合わせください

SALES

店頭演出に、展示会の装飾にご利用ください
 アクティブ新発売キャンペーンツール

パッソルII、ジョグに続く'83年ヤマハスクーターの第3弾アクティブの新発売キャンペーンツールが完成しました。
 ●横断幕兼用のほり(2m×60cm) ●シーリングカイト
 ●ステッカー(B5) ●プライスカード ●ロゴテープ(75mm×15mm)の5種です。店頭からのアクティブ新発売告知としてアクティブ新発売展示試乗会のツールとして、どうぞ積極的にご利用ください。



アクティブ・プラスカード



アクティブ・シーリングカイト

この春のお客さまの話題
 いち日バイクデパートにご参加を!

話題のニューモデルが勢ぞろい! 試乗から用品バザールまで、魅力的ないち日が始まる——恒例のスポーツフェスタをさらに発展させて、この春からスタートした「いち日バイクデパート」。第1回の3月19、21日には、各地でにぎやかな催しがくりひろげられて、華やかに春商戦の開幕をもちあげたものです。

これにつづいて、4月には2、3日、9、10日、16、17日、23、24日と文字通り毎週末ごとにこの春2回目の「いち日バイクデパート」が開催されます。新機種コーナー、お買得車コーナー、RZ250 R&モトシーバー試乗会・試聴会、サリアン特別仕様車特別セール、中古車市、用品バザール、春のバイクDAYクリニックと開催メニューももりだくさん。専門誌を通じての大大小小的な集客告知も行なわれるこの第2回「いち日バイクデパート」、みなさまのお店でも店頭セールとの連動など、どうぞ有効にご利用ください。



アクティブ・ステッカー



アクティブロゴテープ

アクティブ横断幕兼用のほり



お店では、もうご活用いただいていますか？

『RZ250R』デモ用VTR

「RZ250R」の拡張ツールの一環として製作したデモンストレーション用VTR、お店ではもうご活用いただいていますか？

「RZ250R」の技術特徴や平忠彦選手によるSUGOロードコースでの走りっぷりを中心に、セールスポイントをわかりやすく紹介。同時に専用オプション用品、専門誌発表試乗会風景、モーターサイクルジャーナリストの試乗評価をも盛り込んで商品全容をクローズアップ。さらにロードレースGP50

0ccクラスのデッドヒートや英国のRD（RZ）カップレースの模様も織り込んでRZの世界を広げた約14分間のVTRです。

店頭でのセールズツールとしてお客さまにご覧いただくのももちろん、スポーツ感覚いっばいの店頭店内演出として、さらに「いち日バイクデパート」など展示試乗会でのデモンストレーション用として、きわめて幅広くご活用いただけるものです。

お店に1セット、どうぞお備えください。



話題のデュアルパーパスXT250T専門誌発表試乗会開催

ヤマハでは、XT250T新発売を前にした3月15、16日の両日、静岡県掛川市のつま恋およびトレールランド浜北に、二輪専門誌記者や、テストライダーなど約60名を招いて「新製品XT250T発表試乗会」を開催しました。

製品紹介ではまず「トライアルランからハイウェイ走行までカバーする、究極のデュアルパーパス」という開発コンセプトや、製品

特長の紹介に大きな関心が寄せられました。また「私もXTユーザーのひとり。実際に乗っていて、ここがこうなればいいな」と思うことを全て投入した製品です」という開発チーム・スタッフの挨拶が大きな拍手を浴びていました。

一方、試乗会では、俊敏な走りに注目が集まったのもとり、これまでのデュアルパーパスモデルの試乗会では異例ともいえるト

ライアルランにトライするテストライダーの姿も見受けられました。

4月発売の専門誌各誌は、こうしてXT250Tの商品性とインプレッションを詳しく紹介することになりますが、これらはまた市場への強力なインパクトを持つものです。どうぞご期待ください。

製品説明会の会場には、XT250Tのイメージリーダー・輸出用TT660（中央）も展示

SERVICE

サービスはもうひとつの商品！
効率アップとイメージアップに「バイクリフト」を設置しませんか？

お客さまの信頼感を高めるうえで、また総合的な収益アップをはかるうえで、修理サービスの占めるウェイトが日ごと高まっています。こうした中で、お店の作業効率を高め、同時にサービス作業を直接お客さまへ

バイクリフトの導入です。

このためヤマハでは、株式会社エア油圧式バイクリフトML-3Aを、販売店のみならずにご紹介しています。

このML-3Aバイクリフト（写真）は、

特徴。またオプション仕様のエア油圧ビット方式ML-3A・Pもあります。

●最大荷重400kg ●揚程750mm ●寸法700×1950mm ●自重180kg ●最低地上高160mm ●標準価格220,000円。



にご覧いただき、技術力のある店のイメージを高めるために注目されているのがバイク。

強力なエア油圧シリンダーを採用し、接地面積が小さく、手動でも簡単に上昇できるのが

さらに詳しくは、もよりのヤマハ特約店、販売会社の営業技術課へどうぞ。

SAFETY

業界あげての安全普及活動『二輪車事故防止キャンペーン』はじまる

二輪車事故の増加にストップをかけようとの開催の準備がすすめられていた「二輪車事故防止キャンペーン」が、いよいよスタートしました。

先月号本欄でもご案内のとおり、このキャンペーンは(世)日本自動車工業会と(世)二輪車安

全普及協会が中心となり、関係行政当局との協力のもとに展開するもので、特に自動二輪の初心者ユーザーを対象に、事故防止に直接役立つ具体的なアドバイスを実施しようというものです。

ポスターや新聞広告を通じての呼びかけに

加えて教習所卒業生への呼びかけ、警察との連携による街頭アドバイスも実施されますが、もちろん原付ライダーや四輪ドライバーへの幅広い呼びかけによって、交通安全意識をもうあげ、全体的な事故減少を狙っていることはいまでもありません。

ヤマハ安全運転推進本部でも、このキャンペーンの一翼を担って多彩な活動を展開してまいります。販売店のみなさまも店頭からのキャンペーン推進、どうぞよろしくおねがいいたします。



スポーツランドSUGO

SSCM会員を募集中です。ご案内どうぞよろしく!

SSCM(SUGOスポーツクラブアમેイト)は、SUGOのモータースポーツ施設をご利用いただく場合に必要なライセンス。このSSCM'83年度会員を只今募集中です。

会員区分は●ロード会員(2輪・4輪) ●カート会員 ●ミニバイク会員 ●モトクロス会員 ●トライアル会員、となっておりますがロード、カート会員になるにはライセンス講習会の受講が必要となります。講習会日程およびライセンス料金・スポーツ走行料金は左記のとおりです。お客さまへのご案内どうぞよろ

しく。

〈ロード(2輪)の講習会日程〉

4月3日、5月15日、6月26日、7月3日、
8月14日、9月23日、10月23日、11月23日、
(いずれも午後1時より)

〈カートの講習会日程〉

4月10日、5月29日、6月12日、7月10日、
9月18日、10月16日、11月13日、(いずれも午
前9時より)

〈SSCMライセンス料金とスポーツ走行料金〉

	ロード(2輪/4輪)	カート
入会金	6,000円	6,000円
年会費	8,000円	8,000円
合計	14,000円	14,000円
更新料	8,000円	8,000円
走行料	会員 2輪30分1,800円 4輪45分3,000円	3H 2,000円
	非会員	3H 4,000円
保険料(1口)	2輪 500円 4輪 1,000円	200円

	ミニバイク	トライアル	モトクロス
入会金	3,000円	2,000円	2,000円
年会費	5,000円	3,000円	3,000円
合計	8,000円	5,000円	5,000円
更新料	5,000円	3,000円	3,000円
走行料	会員 1.5H 1,500円 1.5H 3,000円	1日 1,000円 1日 3,000円	1日 1,000円 1日 3,000円
	非会員	1日 3,000円	1日 3,000円
保険料(1口)	200円	500円	500円

※SLカートライセンスをお持ちの方でSSCMに入会希望の方は、入会金6,000円は免除され、年会費8,000円のみで入会できます。

SUGOイベントカレンダー

4月

- 春の山菜うまいもの祭(5月31日)
- 家庭菜園オープン(11月23日)

11月

- アーチエリー大会
- SLサーキットラン
- SLカップエンデューロ第1戦
- カートライセンススクール
- ヤマハライディングスクール
- SUGOテニスマスター☆

10月

- バーベキュー(10月末まで)
- マンズリー・テニスマスター
- SUGO麻雀大会★
- サーキット体験走行会
- SUGOゴルフコンペ★
- 全日本フォーミュラIII・自動車レース
- SLカップモトクロス第2戦
- ハンバーガーデザート祭(5月8日)
- ジュニア遊覧飛行(5月5日)
- ポニー牧場(5月6日まで平日を除く)
- 軽スポーツフェスティバル(5月5日)

9月

- SLカップロードレース第1戦
- MFJ宮城県選手権モトクロス第2戦
- 子供ショー
- SLカップトライアル第2戦
- 子供フェスティバル
- マンズリー・テニスマスター
- バッテリー大会
- SLサーキットラン
- ヤマハライディングスクール
- SLカップエンデューロ第2戦
- ロードライセンススクール
- 全日本選手権シリーズ第5戦・SUGOロードレース大会
- ザ・カートまつり
- SLカップトライアル大会
- カートライセンススクール

8月

- SLサーキットラン
- ヤマハライディングスクール
- SLカップエンデューロ第2戦
- ロードライセンススクール
- 全日本選手権シリーズ第5戦・SUGOロードレース大会
- ザ・カートまつり
- SLカップトライアル大会
- カートライセンススクール

7月

- SLサーキットラン
- ヤマハライディングスクール
- SLカップエンデューロ第2戦
- ロードライセンススクール
- 全日本選手権シリーズ第5戦・SUGOロードレース大会
- ザ・カートまつり
- SLカップトライアル大会
- カートライセンススクール

6月

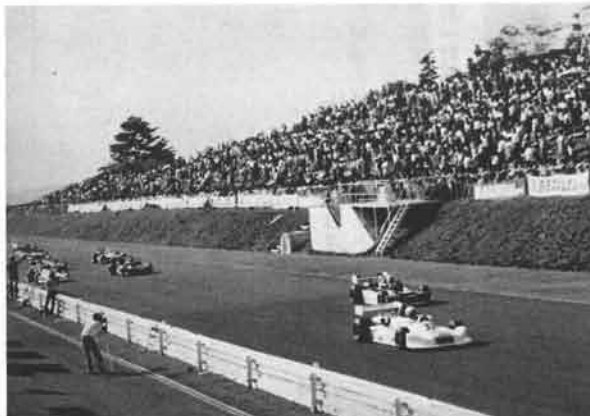
- SLサーキットラン
- ヤマハライディングスクール
- SLカップエンデューロ第2戦
- ロードライセンススクール
- 全日本選手権シリーズ第5戦・SUGOロードレース大会
- ザ・カートまつり
- SLカップトライアル大会
- カートライセンススクール

5月

- SLサーキットラン
- ヤマハライディングスクール
- SLカップエンデューロ第2戦
- ロードライセンススクール
- 全日本選手権シリーズ第5戦・SUGOロードレース大会
- ザ・カートまつり
- SLカップトライアル大会
- カートライセンススクール

4月

- SLサーキットラン
- ヤマハライディングスクール
- SLカップエンデューロ第2戦
- ロードライセンススクール
- 全日本選手権シリーズ第5戦・SUGOロードレース大会
- ザ・カートまつり
- SLカップトライアル大会
- カートライセンススクール



- SUGO東京営業所
〒105 東京都港区芝2-31-16
03(456)0191
- SUGO仙台営業所
〒980 仙台市一番町4-1 福田ビルF
0222(66)8401
- スポーツランドSUGO
〒989-1-4 宮城県柴田郡村田町菅生
0222483-3111

ヤマハ奥さま 登★場 ④

讃岐路は春満開！ ヤマハ奥さまの活躍もフルスロットルです。

春とともに四国八十八カ所の札所をめぐるお遍路さんの姿も目立つ香川県。そんな中で、春のスクーター商戦に取組んで元気いつぱいのヤマハ奥さまの姿が対照的。讃岐路はいま春まつさかりです。



春まつさかりの今こそ売らなくっちゃ。展示会を開いてどんなお客さまにもピッタリのバイクがあるんだってことを知ってもらおうと思っています。もちろん試乗も、この春は展示試乗会で勝負ね。
●松家孝子さん・香川県大川郡志度町／松家隆商会（松家隆社長）



うちは免許教室を最大限に活用して拡販にむすびつけます。チラシや有線放送を使って地域のみなさんに開催告知をします。それとカタログを持参しての戸別訪問もね……。
●池田節子さん・香川県木田郡牟礼町
池田サイクルストア（池田計一社長）



折込みチラシって効果の大きいものなんですわね。最近改めて見直しているんです。今つくっているのが原付免許取得のおすすめ。セールスマンといつも相談しながらやるんですけど、楽しいですよ。

●西本晴美さん・高松市東山崎町
西本サイクル(西本正社長)



もう待ちの商売の時代は終りですね。どんどん訪問販売で打って出なくては。4月は、ジヨグのデモカーでできるかぎり外交をしようとはりきっています。

●川崎三子さん・高松市高松町/カワサキサイクル(川崎正雄社長)



うちは、技術を売る店。でお客様の間に通っているんで、私もメカの勉強をして、評判を損なわないようにガンバっています。この春は、開店3周年、タイヤ交換キャンペーンをやってお客さまを呼び込むつもりです。

●堀家洋子さん・香川県丸亀市中府町
バイクショップホリケ(堀家修社長)



店内の印象をいつも新鮮に、とうちでは毎週模様変えしているんですよ。展示車の陳列変えはもちろん、カペ紙まで自分で変えちゃうんです。商品を魅力的に見せることで頭の中はいつもいっぱい。

●川西三子さん・高松市一ノ宮町/川西自転車店(川西昌信社長)



STAYS UP COORNER

●お忙しい販売店さんのための情報アンテナ ● 話題と流行の最新情報 ●

MUSIC

●ちよつと勇曲気のいいレコードを
「音楽家たち」 ムスタキ ポリドール 28
MM0246

「私の孤独」「生きる時代」「異国の人」など数々のヒット曲をもつジョルジュ・ムスタキは、日本でもファンの多いフランス・アーティストです。「音楽家たち」は久々にリリースした最新盤で、オランダのクラシカル・フォーク・グループ「フラレック」のアカousticなサウンドと共鳴して、まさに現代の「吟遊詩人」と称されるムスタキの歌声、仕事で疲れた時の一杯のブランデーのよう、心がぬくもりそうなのです。

人生や愛について穏やかに歌いあげるジョルジュ・ムスタキ、とってもいいですよ。



☆☆☆
●男だから弾かない、という手はない。

フツ、バイク屋さんというバイクとヒー、そしてミュージックというパターンであればまず気分は良い方です。しかし、ミュージックというほとんど有線放送やFMやAMラジオに任せっぱなしですね。

でも、バイクの仕事って本当は夢を売る商売なんだから、ミュージックという芸術をもっと演出してみると、さらにバイクの仕事が何たるか、ということがわかってくると思



BOOKS

●個性派女優の内面吐露

「ひとり身ポッチ」
桃井かおり著 大和書房

テレビドラマの主人公、ある時は歌手。それも女らしいけれどカワイサを感じる桃井かおりの本が登場しました。その名も「ひとり身ポッチ」880円・大和書房

彼女は「青春の蹉跎」「神様のくれた赤ん坊」などそのちょっとダルそうな独特の演技で個性派女優を演じ続けていますが、その彼女の今までの舞台裏と彼女自分の内面を綴ったエッセイ集です。

彼女の作品としては、「愛ふたたび」「赤い鳥逃げた?」「幸福の黄色いハンカチ」影

ます。そういう意味でオススメしたいのがエレクトーンなのです。

え、バイク屋さんじゃありませんか。店番をする奥さんに弾いてもらったり、時にはポップギヤルのお客さんに弾いてもらったりすれば、ホラ、お店もなごやかになりますよ。

いつもの閉店時間がきたら、バイク屋はパーティー会場に早がわり、という気の効いたことをやると、お客さんもエツと驚くこと間違いないし。

GARAGE

●ガレージが欲しい!

バイク屋さんは、とてもいい。それがたえ展示用バイクでも、ちゃんと屋根のあるところに入れられるからです。だからライダーたちは、本心こんな広いガレージがあればなあ、と心の中で思っているはず。バイク屋さんには、たいていバイクのクラブがあるものです。そこでひとつ提案です。バイクのガレージ。それをクラブ員の会員でひとつ借りてみたいかがでしよう。ガレージでは自分が納得のゆくまでバイク



に触れることができるのです。たとえ雨でも風でも夜でも寒くてもです。バイクガレージは今、若者の夢なのです。よい意味での溜り場ができていいのではないのでしょうか。

ガレージはできれば人家が密集していないところで、「自然」を感じることができるところがいいのですが、あまり無理はいりません。ガレージには若者との約束ごとがなくても、なぜか自然にみんなが気持ちよく利用できるように自然にたらしめたものです。

ガレージはいつのまにか、大人のきちんとしたルールを身につけさせるかもしれません。



PRESENT

●祝・入学進学のパレゼントにいかがや

入学進学のパレゼント、そしてニューマシーンをお買い上げのお客さんに秘密のパレゼント、といってもどんなものをパレゼントしたら喜んでもらえるだろうか。ハイティーンは一体どんなセンスを指向するのか、もう考えだしたら半年も一年もかかりそうですね。おっとそれではパレゼントのチャンスをお願いしますよ。



というところで、イクシーズのコンビネーションウオッチというのはいかがでしょう。

バンドとケース、回転リング、メカ本体の3部分を好きなカラーで組みあわせて、まさにオリジナルの時計が作れるのです。パレゼントもやはり個性がなくてはなりません。

組みあわせはなんと驚きの640通りです。メカ本体が8色、バンド&ケースが8色、回転リングが10色。つまり、8×80×640ということなんです。

バイクって、こういう軽い感じの時計が似あうですね。本体¥20、500 バンドケース¥3、000

TOUR

●地名を知る楽しみ

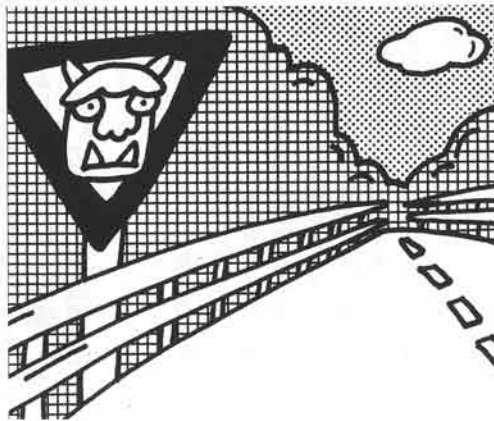
日本狭しいといえども、旅をしてみると自分が知らない、あるいは知っていたつもりも街が意外にもイメージとまったく違う街だったりしてビックリします。

街の中に入ってゆくと、バイクはスピードをゆるめるのがいいと思います。県境から心なしか風の香り、冷たさ、人の表情がかわ

ってみえるかもしれません。急ぎ旅はもったいないのです。

旅をさらに面白くする方法として、地名を研究してみる旅というのはいかがでしょう。なんか少し小学生っぽい発想かもしれませんが、その地名の由来を調べているうちに、その地名にちなんだ名産品、地形、歴史が手にとるようにわかってきたりします。

旅は1人が気の合う友と2人がいいかもしれません。あるいは長年連れそった奥さまと久々ツーリングというのもいいですね。春のワインディング。タンDEMで山中を走る。実に気分がいい。お店にないフレッシュ気分が。



そして自分と奥さままで体験した素晴らしいお客さまにオススメするというのは如何でしょう。自分で体験したことはとても相手を説得できるもので、その気さえあれば道先案内人というのもいいですね。

日頃から使っている自分の街のことも意外と知らないというパターンが多いものです。遠くの街へ出かけなくても、よくよく見ると新鮮な景色・面白い道が近くにあったりします。時間が無い時でも、すぐ近くへツーリングということは可能だということです。

また、お店の中にも、地元の名産や歴史を探究するという手もあります。これをベーパー・ツーリングとでもいいたいでしょうか。

地元のいにしえの人々を思い浮かべて、今の自分を、バイクに乗った自分を探究してみるという手もあります。そこにロマンがあるので、そこのロマンを創るのが距離に関係ない本道の旅だと思えます。

☆☆☆

●ツーリングは楽し!

お店単位でツーリングに出かける時の楽しさをしましょう。ツーリングはとても楽しいものですが、ただひとつ、気をつけておきたい事があります。たくさん走るときは、分割して目的地で集合というタイプにしたらいかがでしょうか。たくさん走るのはいろいろと疲れるし、何かと無理を生じさせてしまうもの。

具体的には、大勢では平均速度がガタツと落ちるのです。もちろん飛ばす割にはです。

なにはともあれ、ツーリングはたのしいもの。目的地は海ぞいか山中か、ということになりますと好みや、距離でいろいろと状況が変わりますが、海ぞいのツーリングなら、大抵の場合、人家とはあまりかけ離れない場合が多いので何があっても大丈夫かもしれません。人が、人里離れた山中では、ちょっと条件がちがいます。一人でなく、数人でも迷子になれば、心は意外にもあせり始めるのです。山中はできるだけ早い時間に通り返けること。それがツーリングの秘訣なのです。



理論編

お店の現状を、金の面から数字で考える

確定申告も無事に終ってホッとされているお店も多いことでしょう。決算はお店の全容をシビアにとらえるまたとない機会。この講座でも、お店の現状を数字でとらえる方法をとりあげました。今月は理論編、どんな数字が何を物語っているのか？ そして来月は、その数字からどう判定したらよいのかの、実践編です。

お店の現状を、

金の面から数字でとらえることの意味

金銭的なことをとやかく言うのは、どうもみっともない、という発想がわれわれの中にはあります。暮していけるだけの収入があつて、お客さまに喜ばれるお店であれば、それでいいではないか、という考え方です。

しかし、経営を成功させるためには、お金は不可欠です。経営の失敗というのは、お金が入らなかつたこととほぼ同意語です。そして、さらに重要なことは、お客さまに喜ばれるお店というのは、やはりお金の入ってくるお店、経営上の数字のよいお店なのです。

お金が入ってこないようなお店というのは、ご主人がどう思おうと、結局はお客さまに役に立っていないお店ということになります。

したがって、どれだけ売れたか、どれだけ利益が出たかという数字が、どれだけお客さまの役に立ったか、ということを示す大切な指標のひとつにもなるのです。

お店はもうかっていますか？ 売上げは増えていますか？ 無駄なところにお金を使っていますか？ 無駄なところにお金を使っていますか？ そしてその検討は十分になされていますか？

今月は、自分のお店のお店の状況をお金の面から数字で把握する方法を考えてみました。

数字は冷たい、とよく言われますが、逆に考えればそれだけ客観的に正確に事実をとらえられるのです。比較検討ができることも、数字で見ることの大きな長所です。なんらかの基準——他店や業界の平均、そして自分の過去のデータと比較することもできます。さらに、いくつか並べることによって特徴や傾向をつかまえることができるのです。オートバイの修理でも経験やカンのすぐれた人であれば、数字がなくても目分量だけで修理ができるでしょう。しかし、より複雑で高度なメカニズムを扱う時や、正確な修理を間違いないしようとするとノギスやマイクロメーターなど各種のゲージ類が必要になります。この場合も、経験やカンが不要だというわけではありません。それらも含めて、より高度なものが要求されているのです。

売上げは伸びているか？

利益は伸びているか？

では、経営のための数字はどこからもって来るか？ いうまでもなく決算のための資料、つまり財務諸表です。

これらの表を、ただ税務所に提出するための面倒な手続きのひとつとして、やっとなんと放り出してしまったのでは、あまりにももったいないといえるでしょう。

これらの表を分析することによって、案外普段は気づかなかつた欠点や明確に浮かび上がり、自店の欠点は何か、何をどのように変えればよいかの大きな方向をつかむことができるからです。

まずは、机の中に放り込んでしまった財務諸表を取り出してください。それでは、わかりやすい『損益計算書』からみてみましょう。まず注目するのは売上げ高。これを前年または前期との比較で見ます。

$$\frac{\text{前年売上} - \text{前年売上}}{\text{前年売上}} \times 100$$

この比率は、10〜15パーセントは欲しいところですよ。

第二は利益の伸び率です。これは最も簡単な『売上げ総利益』から見ます。これもやはり前年と比較してみ、その伸び率が売上げよりも大きければ問題はないでしょう。もしもそれより少ない時には、何らかの手を打つ



ことが必要になります。

また、人件費との比率も見ます。販売店の経費の中では人件費が最も大きな比率を占めるからです。

$$\text{労働分配率} = \frac{\text{人件費}}{\text{総売上}} \times 100$$

この比率は低いほど有利であり、一般には50パーセント以下がよいとされています。しかし、オートバイ販売店では、55〜60パーセントと一般よりもやや高くなっているようです。つまり、人手のかかる経営というのがオートバイ販売店の姿です。

資金は、

じょうずに活用されているか？

つぎに、もう少し別の面から収益性（もうかっているかということ）を見てみます。

ここでは『貸借対照表』が必要になります。その一番下に総合計の大きな数字が出ています。（この数字は、右と左があります。両方同じです）これは、現在使っているお金の総額

と考えてよいでしょう。

この額が大きいほど、そのお店がお金の面で活発に活動していることを示しています。しかし、忙しいだけで利益が出ていないのは困ります。この比率を見たのが『総資本利益率』です。

$$\text{総資本利益率} = \frac{\text{利益}}{\text{総資本}} \times 100$$

これは、さらにつきのようになれることができます。

$$\text{総資本利益率} = \frac{\text{利益}}{\text{総資本}} \times 100 = \frac{\text{売上高}}{\text{総売上}} \times \frac{\text{利益}}{\text{売上高}} \times 100$$

この式で、総資本分の売上げ高というのは「総資本回転率」といい、いくら使って、いくらの上上げを上げたかを示しています。

このシリーズの最初にも説明しましたが、一般にオートバイ販売店は「資本」という考え方が薄いようです。店舗と住宅が同じため個人の財産との区別がついてくれないと、土地や建物は前から持っている、出資したという意識が低いことなどが原因でしょう。しかし、この資本を大切に、活用していくという考え方がないと、先の発展も望めません。

お金ができるだけ使わない方がよい、と思っっている方もあるようですが、そうとばかりはいえません。お金を使っていないということは何も活動をしていないことを示しており、よい経営とはいえないのです。要は「使い方」です。少ないお金（資本）をフルに使いこなす。その上手、下手を考えたいのが総資本回転率なのです。

経営は、安定しているか？

つぎに、お店の安全性、安定性を見てみましょう。『貸借対照表』の右側、つまり「負債資本」の項目から見ます。これは、現在使っ

ているお金はどこから入ったものかを示しています。自分で出したお金（自己資本）なのか、他人から借りたもの（負債）なのかを示しているのです。この表の分析で、現在の自分のお店経営状況の安全性を知ることができ

きるわけです。

十分にお金を活用していても、そのお金の出所が、借りたお金ばかりだとしたら大変に危険です。そこで、次の式で自己資本比率を求めてみます。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100$$

つまり貸借対照表の合計の金額で、資本金、準備金、積立金、当期利益などの合計を割ったものが自己資本比率、借金の少なさを表わしていると考えてよいでしょう。

つぎに、表の左側（資産の部）を見ます。これも合計は右側と同じですが、そのお金を何に使ったかが示されています。

内容は大きく分けて、流動資産、固定資産、繰延資産の三つに分かれています。流動資産というのは、一年以内に現金化できる資産で預金、売掛金、商品（棚卸資産）受取り手形などが含まれています。

固定資産は、長期に使用する土地、建物、車両、機械設備などが含まれています。繰延資産は長期（一年以上）にわたって償却する創業費用などが含まれます。

これらを使って、まず第一に見るのは『流動比率』です。

$$\text{流動比率} = \frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$$

この式は、流動負債（一年以内に支払わなければならない借金）が多いかどうかを判定し「流動資産が多くあれば、たとえすぐに支払う流動負債が大きくても困ることはないだろう」という判定をするためのものです。したがって、この数字は大きいほどよいのですが、120パーセントが一応の目安といわれています。

こうした数字の分析によって、お店の経営状況の安定ぶりを判断する。今月は、そのために必要な数字、項目だけをご紹介しました。次回、実践編で、具体的にどう判断すればよいか、どう活用すべきかを考えてみましょう。



YAMAHA TOPICS

●ヤマハニュースは、販売店みなさまの情報誌です。みなさまの積極的な誌上参加をお待ちしております。ご商売に関する話題、ご質問、ご相談なんでも結構です。お気軽にお寄せください。(〒438 静岡県浜松市新員2500 ヤマハ発動機株式会社 営業部宣伝課「ヤマハニュース」係 ☎05383(2)1111 内線2356)

'83モータースポーツシーズン開幕

200マイル＝320kmを2時間足らずで走破する「デイトナ200マイル」。今年で42回目を迎えたこのレースの決勝が3月13日、米フロリダ州デイトナスピードウェイで開催されました。

このレース、ブラクティスで1分59秒75(平均時速186km)のコースレコードをマークし、ポールポジションからスタートしたケニー・ロバーツとYZRデイトナは、序盤戦4サイクルマシンに一時トップを許したものの、17周目以降は同じくYZRデイトナを駆るエディー・ローソンのランデブー走行に入り、3位以下を大きく離して52周のチェッカーを受けました。

これでもヤマハは、72年のD・エムデ(TZ350)以来、全米最大のロードレースに12年連続制覇の快挙を達成。改ためてハイパフォーマンス、ハイクオリティぶりを世界に実証しました。

←12連覇を達成した②ケニー+YZRデイトナ、①ローソン+YZRデイトナのランデブー
↓「デイトナ200マイル」では78年以来2度目の優勝のキング・ケニー(左)と2位のE・ローソン



ヤマハ12連勝!



YZライダー大活躍の'83全日本モトクロス

天田淳、R・キンターら期待のホープも登場

国内のモータースポーツもいよいよシーズン突入。3月5、6日の両日には'83全日本選手権モトクロスシリーズの第1戦が、埼玉県比企郡で開かれ、全11戦にわたる熱戦の火ぶたが切られました。

3万人の観衆を集めたこの大会では、国際A級のダイナミックな走りとともにノービス、ジュニア、国際B級の各クラスで'83YZを駆るヤングライダーが大活躍。7レース中5レースの優勝をさらって

話題を集めたものです。中でもジュニア125/250の両クラスを制した天田淳選手、B級125ccの1位となったロン・キンター選手の圧倒的な走りには、'83シーズンのホープ登場ノと、熱い視線が集まっていたものです。

なお、注目のA級では、125ccクラスに庄司覚選手が、第1ヒート優勝。250ccでも藤秀信選手が総合2位と健闘しました。





ヨーロッパの二輪ジャーナリスト来日 '83ヤマハニューモデルをテスト!

イギリス、フランス、西ドイツなど、ヨーロッパ9か国からモーターサイクル専門誌記者約30名が、3月1日から約1週間ヤマハ本社を訪れました。これは、工場見学ほか83年のニューモデルXJ900とRD350の試乗・テストを主な目的としたもので、とくに袋井テストコースでのテストランや技術スタッフとの交流には、各記者とも強い関心を寄せていました。

このニューモデル試乗で各国の二輪専門誌は、各モデルの詳細な試乗レポートを紹介し、ファンの関心に一層の拍車をかけることになりました。



↑一行は本社の「R & Dセンター」も訪れ、シミュレーションシャーンなど、製品開発行程も見学

→技術スタッフとの質疑応答の姿は、2日間にわたる試乗テストのあい間、絶えることがなかった

↓袋井ヤマハコースで'83ニューモデルを試乗テストするヨーロッパの二輪ジャーナリスト達



ロバーツ、ローソン1・2フィニッシュ!
デイトナ200マイル



ジュニア125と250の2クラスでワ
ン・ツー勝利の◎天田淳と◎川崎
智之のYZコンビ



YAMAHA NEWS '83/4 No.238

★もくじ★

9 機種カラー紹介
行動感性360度・アクティブ

〈特集〉
いまたけなわの春商戦に、強力新商品9
機種一挙に新登場



4 2

究極のデュアルバーバスマシンXT250T
迫真のミドルスーパースポーツXJ400Z/ZIS

●社長さん・ヤマハマン対談
PARTナーシップで行こう

●太田克彦の一緒に走ろう④
今月のゲスト・くればやし美子さん

●熱成のヨーロッパスーパースポーツXJ750EII

●「ニューモデル・カラー紹介」
XT250T/XJ400Z/ZIS

●「ニューテレビCF」紹介
ジョグ、パッソルII、アクティブ

20

18

16

14

12

9

●インフォメーション・フロム・ヤマハ
ヤマハ奥さま登場④
讀岐路は春満開！
■センス・アップ・コーナー
■販売店経営講座④
■理論編・お店の現状を金の面から数字でとらえる
■ヤマハ・トビックス

●パーツ&アクセサリ
ヤマハバイクウェアYAシリーズ
●シヨールーム拝見
自然光をふんだんにとり入れ
商品よさをダイレクトに表現する店内演出

●最新の広告活動ご紹介

36

34

33

30

28

26

24

21



本格サーキットでの試乗会とあって、参加希望者は500名。遠くは兵庫県から駆けつけたライダーも見られた



〔ヤマハ西神奈川機〕3月12日の土曜日、富士スピードウェイ(FISCO)のロードコースには23台のRZ250R試乗車を前に、300名のスポーツユーザーが集いました。そして、ヤマハライダー江崎・毛利両選手など6名のインストラクターの先導で5名グループごとのサーキットランが行なわれ、参加者は一様に「RZR」の魅力に酔いしれていたのです。

これは神奈川県平塚市を中心に本・支店5店舗と幅広いご商売を展開するウメダモーターズさんが主催した「ウメダ新車発表会」の模様。店頭告知と二輪専門誌からの広告を通じて募集した500名

FISCOを快走RZ250R 大人気の販売店さん主催「新車発表試乗会」

需要創造活動の原点から出発

原付インストラクター販売店研修会開催



「終了証」を手に、普及活動への意欲も新たな八戸地区の販売店みなさま

〔ヤマハ北東北八戸営業所〕需要創造活動の原点として原付免許教室が改めて見直されている83年ですが、ここの八戸営業所管内でも管内16店の販売店さんを集めて、原付インストラクター販売店研修会を2月16日に開催しました。主旨要綱説明、実習、講評、実施上での留意点など一日の充実したスケジュールを消化した販売店さんは、遅い春商戦の開幕の前に需要創造活動への意欲を新たにされています。

の参加希望者の中から300名を選考し、この試乗会に招いたというわけです。

また、ウメダモーターズさんでは

「これをステップに今後年間5回くらいは試乗会を開催したいですね」(梅田敏明常務)と語られ、春商戦への意気込みもひとしおです。

全開！スポーツごころ ヤマハバイクウェアYAシリーズ

マテリアル、デザイン、ディティールのすべてにバイクウェアとしての機能性を徹底追求して開発したヤマハバイクウェアYAシリーズ。春のスポーツバイクシーズンの、もうひとつの主力商品です。



YA-E106

ライダーズクラブジャケット
¥18,500

背に“RIDERS CLUB”の文字、音又マークとYAMAHAロゴタイプをプリントしたコンチネンタルスタイルのYA-E106は、YAシリーズの極めつけ。表地にリップストップナイロンと、防水性と透湿性を両立した話題の新素材エントラント2000を使用。走行中の体の動きにスムーズに追従するライディングフォームズカット。エリ部や袖口には雨風の浸入を防ぐ独自のプロテクトラバー付。肩とヒジにもキルティングパッド入りです。●色：ブラック&レッド、ホワイト&レッド●サイズ：S、M、L、LL



YA-0803

スクランブルジャケット
¥6,800

林道ツーリングからモトクロスまで、幅広く着られる通気性のよいメッシュジャケット。走行中の体の動きにあわせたライディングフォームズカット。袖とエリを長めにして激しい動きにも対応。両ヒジにウレタンパッド付。●色：レッド&ブラック、ホワイト&レッド、イエロー&ブラック、ホワイト&ブルー●サイズ：M、L



YA-E202

オーバーパンツ
¥14,500

コンチネンタルジャケット(YA-E105)、ライダーズクラブジャケット(YA-E106)、デザートブルオーバー(YA-0104)とコーディネーションが楽しめるオーバーパンツ。素材はジャケットと同じエントラント2000です。●色：ブラック、レッド、グレー●サイズ：M、L、LL



YA-E103

クルージングジャケット
¥26,000

本格ライダーズジャケットとして開発したヘビーデューティ、全天候ジャケット。表地にはT/Cとエントラント2000を使用。カッティングはライディングフォームズカット、エリ、袖口には肌にやさしく、濡れても温かいジャージを使用。ポケット、フロント部、袖口の締めにはアジャスタブルのベルクロを使用。●素材：表・T/C、エントラント2000、裏・リップストップナイロン●色：レッド&ブラック、グレー&ブルー、グレー&レッド●サイズ：M、L、LL

※ここにご紹介したウェア類をすべて網羅した「ヤマハ・バイクウェア・YAシリーズ」カタログも用意しました。担当パーツマンにお申しつけのうえ、どうぞご利用ください。



入口には話題のニューモデルを展示して誘店効果を



自然光をふんだんに採り入れ 商品魅力をストレートに表現

交差点角地のメリットを活かした総ガラス張りのショールーム



バイクショップドーベル

金沢 敏玄社長

大阪府八尾市南木の本2-2118

☎0729(93)9795

164平方メートルのショールームのうち交差点に面したふたつの面を全面総ガラス張りにして、自然の光をふんだんに採り入れた『バイクショップ・ドーベル』さん。広びろとした明るい店内では、カラフルなスポーツバイクが、一段とあざやかに輝いているようです。そしてお隣りは、17平方メートルのコーヒーストック『ドーベル』、バイク目当てに訪れるお客さまたちの格好の情報交換の場となっています。

装飾の少ないショールームの中でアクセントとなっているのが、写真壁紙とグリーンマットを使って演出したオフロードコーナーとそれにつづく用品コーナー



●明るく広びろとしたショールームで
スポーツバイクの高質感、
商品性をアピール

昨年10月、この新店舗のオープンに当たって金沢社長がもっとも心を配られたのは『時代感覚にマッチした近代的なバイクショップをつくりたい』ということだったといえます。

具体的には、まず入口からショールームまで気軽に立入ってもらえること、そしてもうひとつは、年々飛躍的に向上していくオートバイの品質感、商品性を最も効果的に演出するということです。『商品の魅力を100パーセント引き出すということです。できるだけ自然光を使って、美しい

『ドール』さんのお店

「ドール」さんのお店、じつにビューティフルで、オーナーのセンスの良さがうかがえるようです。

店内演出とひと口にいっても、整然さ、にぎわい、使い勝手などのバランスが大変にむずかしいものですが、あくまでも整然さを基本として使い勝手を考えていくべきです。

その中に、アクセントや安すらぎを演出。これらが装飾における「にぎわい」になります。そして、これらの要素がバランスよく整った時、そのお店は素晴らしい商環境となり、収益アップへとつながっていくのです。

ポスター一枚貼る時、植木鉢ひとつ置く時その効果を良く考え、常にセンスアップを心がけたいものです。

著名な画家でも、最後に描き上がった絵にサインを入れる場所を長時間考えることがあるそうです。

株ディ・バイ・ディ

ヤマハ店舗相談室

伊藤 隆蔵

→自然光をふんだんに採り入れて明るく、ひろびろとした店内。前の道路を行きかう車の中からも店内の様子がひと目でわかる

↓交差点の角地に建つ「ドール」さん。店頭にはカラフルなスクーターが並び、道行く人びとの目をひきつける。写真右手が「コーヒーショップ・ドール」



「近代的なバイクショップづくり、にはりきる金沢社長(右)とサービスの沼田洋三さん(中)/営業の原辰行さん



カラーリングを正確に見せたいと思いました。そのため交差点に面した壁面はすべてガラス張りにし、床面にもあえてカラーマットは使いませんでした。

床の色が、バイクに映り込んでしまうということと、ショールームの奥の方まで光がまわりにくくなるからです。

またショールームへの入口も、ガラス面の端にして入口からウィンドウへ向って、明るく広がりを持たせるようにしてみました。結果としてこれらの狙いは成功していると思います。圧迫感がなく、お客さまも自然に奥の方まで入って来られるようですから……」

●ハードになりがちな

店内の雰囲気やカラフルな用品コーナー

こうしたショールームの演出とあわせて金沢社長がもうひとつ力を入れているのが、用品コーナーの充実です。

「男性、女性、ヤング、アダルトと幅広い層のお客さま、さらに趣味も好みも異なる多くの人たちすべてに、魅力あるバイクショップ」としていくためには、用品は欠かすことのできない要素だと思っていますね。

店内演出の面だけからみてもブーツからジャンパー、皮ツナギ、ヘルメットまでカラフルな用品類は店内の雰囲気や和らげてくれますし。うちでは、ショールームの中に用品コーナーがうまく解けあつたようにするために、ここにテーブルと椅子を置いてみました。ここでくつろいでいたただこうという、ささやかな工夫です」

こうした、細やかな気くばりもあって「ドール」さんは、お客さまの層がきわめて幅広いのが特徴。スポーツバイクがずらりと並ぶショールーム内へも、スクーターの女性客やアダルトのお客さま方が気軽に入って来ます。そして、こうした姿を見ながら、金沢社長は「次の課題は、天井が高いことを活かした空間演出とウィンドウ壁面のより効果的な演出ですね」と魅力的なお店づくりにますます意欲をみせられています。

YAMAHA

君にあげよう、ピーターパン気分。



「ピーターパン気分」は、1960年代の若者文化を象徴する言葉。若者が憧れる、自由で楽しい生活スタイルを、YAMAHA JOGが実現します。JOEのデザインは、洗練された印象を与えます。また、JOEは、最新のテクノロジーを搭載し、快適な乗り心地を実現しています。YAMAHA JOGは、あなたの生活に新しい風を吹き込みます。

スタイルン・スプリンター

YAMAHA JOG
ジョグ

新発売

★ヘルメットを必ず着用しましょう。
★取扱説明書をお読みください。
★目録掲載価格をお忘れなく。

HAVE A NICE RIDE. ナイスライディングをよろしく。

最新のご活動ご紹介

■掲載誌：4月発売の一般誌、男性誌
新発売と同時に快調なダッシュをみせているスタイリッシュ・スプリンター「JOG」。テレビCFのオンエアとあわせて3月下旬からは一般誌、男性誌を通じての雑誌広告もスタートしています。